『熙代勝覧』の世界にタイムスリップ
－エコで、ボランタリーな江戸の町－

2020年1月24日

椎野　修平

私は何者か？

- 神奈川県職員として、税務、国際交流、福祉、広報、商工、労働などの行政事務を担当
- 1996年4月に県が設置した市民活動を総合的に支援するかながわ県民活動サポートセンターの開設から10年間勤務
- かながわボランタリー活動推進基金21の創設に携わる
- 退職後は、中小企業や商店街を支援する団体の勤務を経て、現在は日本NPOセンターでお手伝い中

なぜ、江戸時代なのか？

・日本にはボランティアの文化がないって？

・ボランティアの語源は？

・日本でのルーツは江戸時代にあるのではないか？

・でも、現代に受け継がれていない・・・

なぜ、絵巻物なのか？

・当たり前のことは、書き遺していない。

・和本リテラシーの不足。

・絵は口ほどにものを言う！

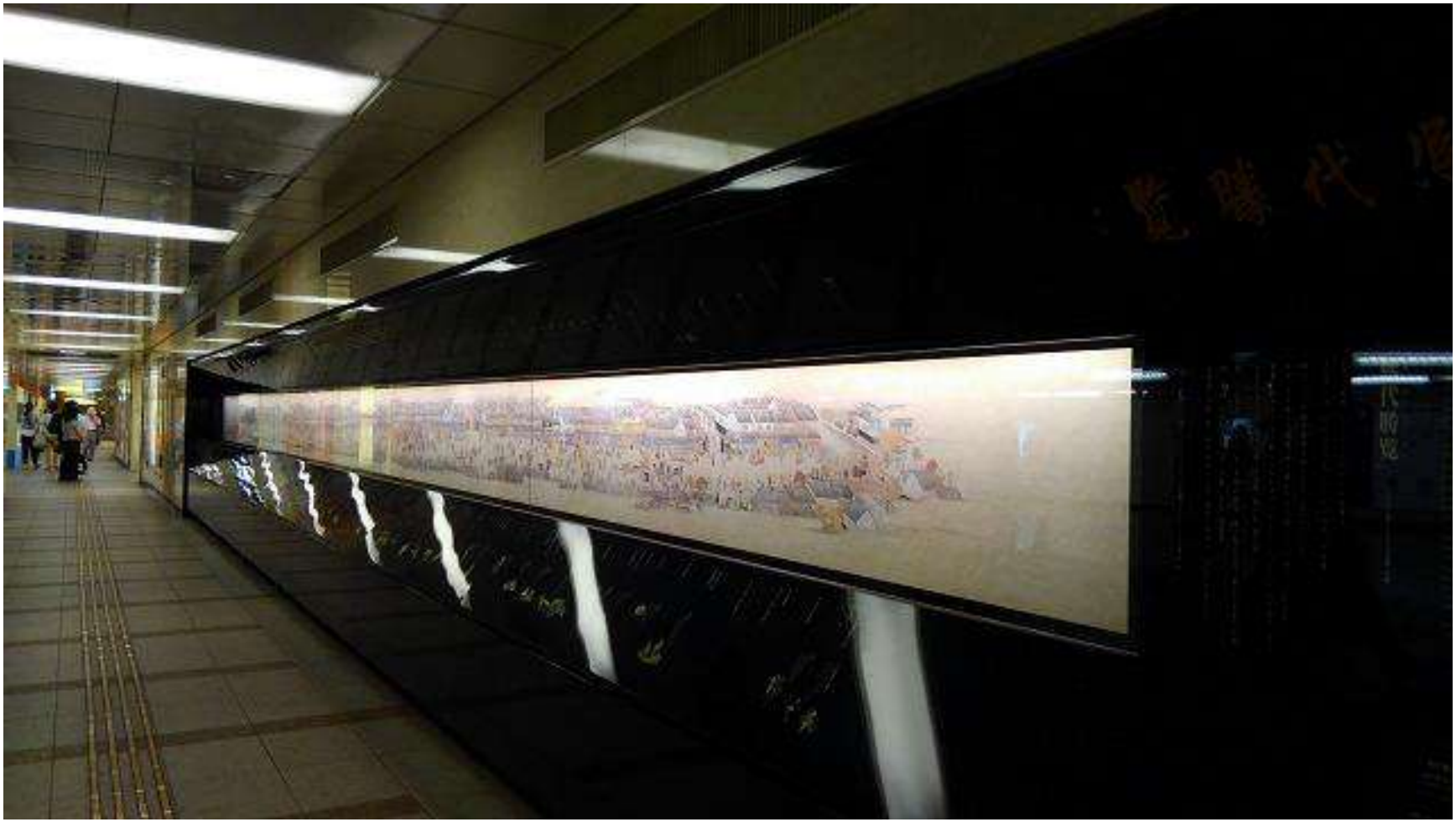
「熙代勝覧（きだいしょうらん）」とは？

○　熙代勝覧は、1999年にドイツで偶然に発見された、化政時代の爛熟した大江戸の日本橋通りを描いた長大な絵巻物です。

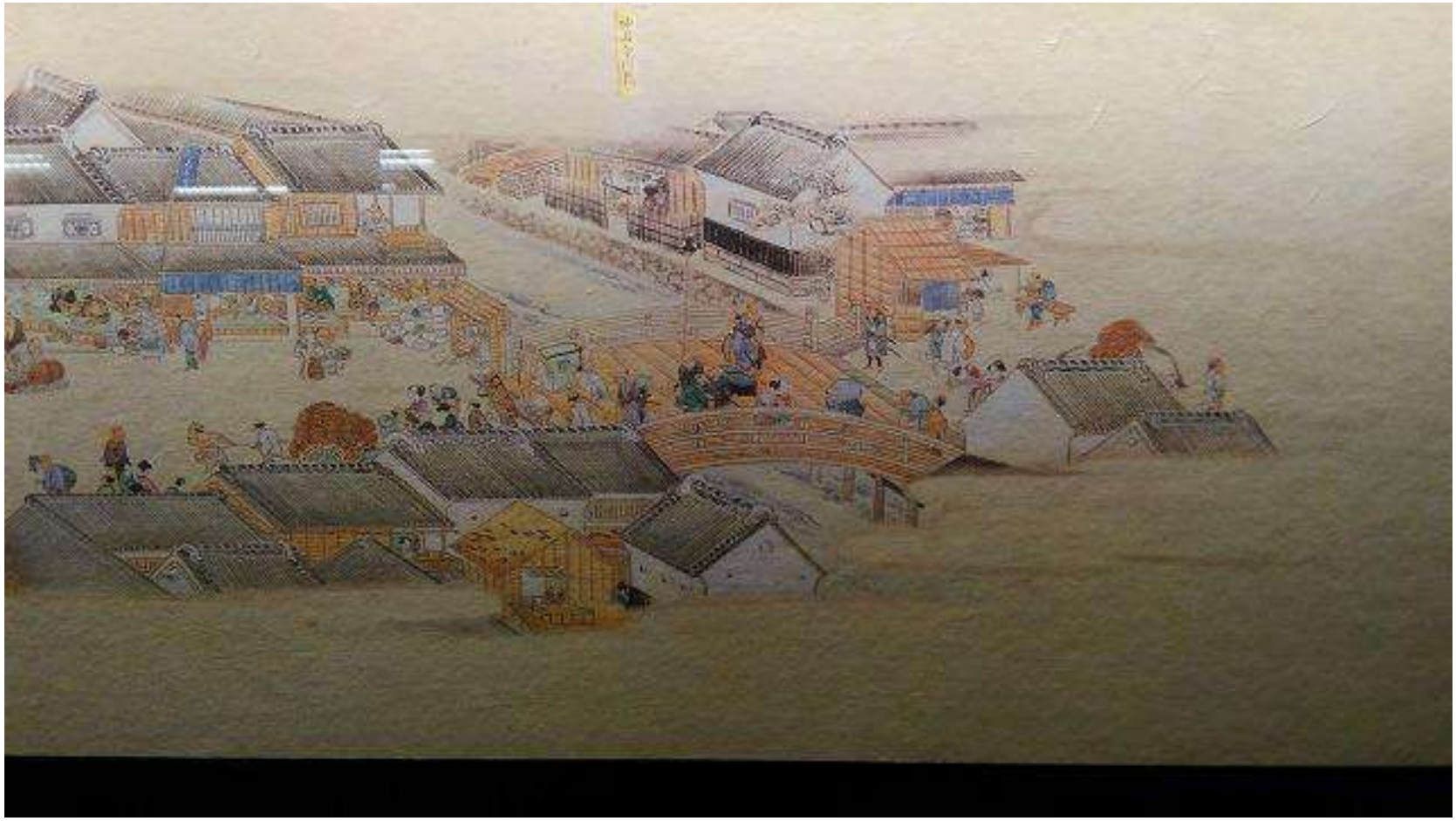
○　作者も制作意図も不明ですが、神田今川橋からはじまり日本橋までの大通りの問屋街と行き交う人々を克明に描いた「日本橋繁盛記」ともいえる素晴らしい絵巻物です。

○　現在はベルリン国立アジア美術館に所蔵されていますが、東京メトロ三越前駅地下コンコースに複製が設置されています。

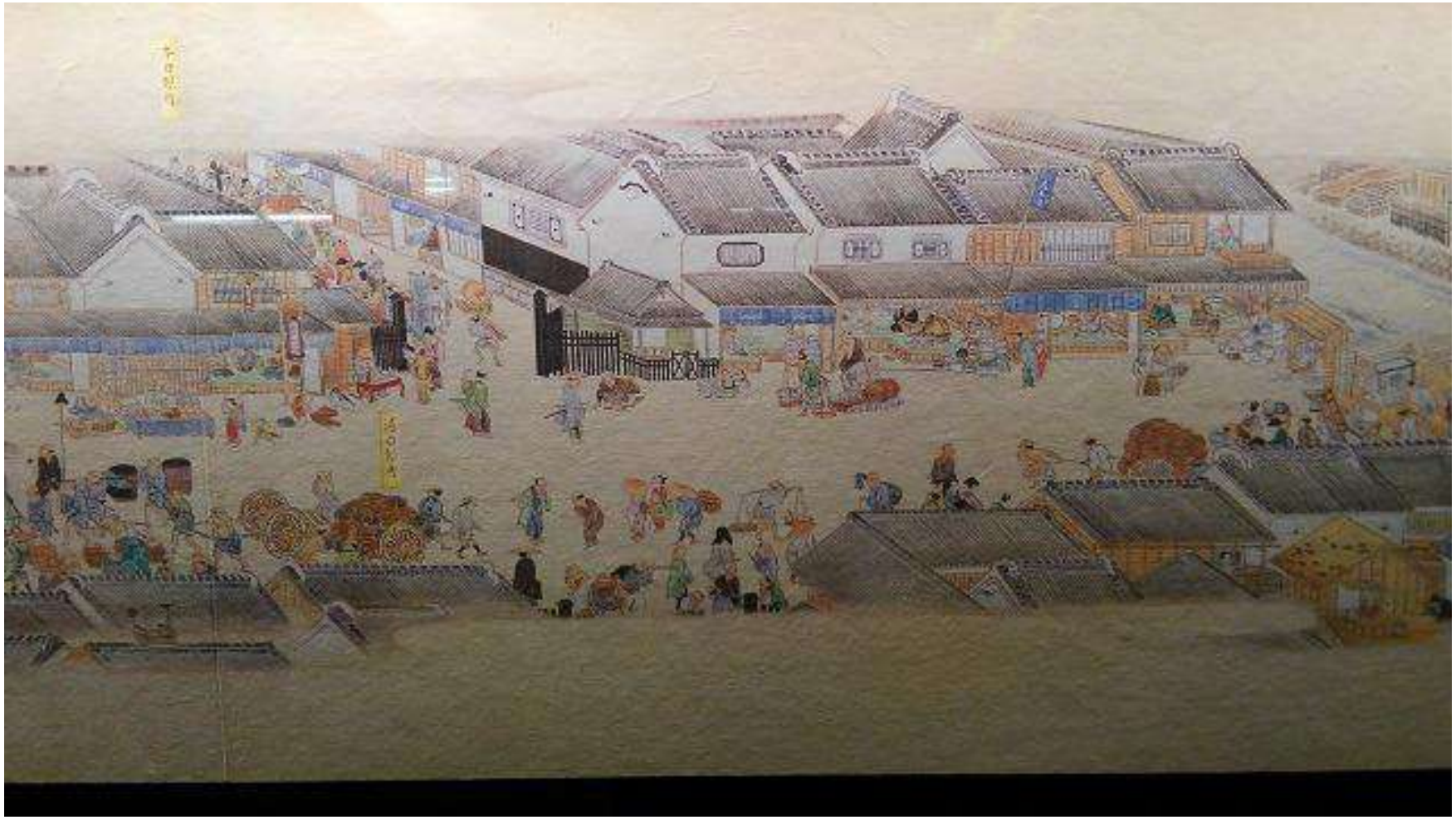
地下鉄三越前駅コンコースの複製画



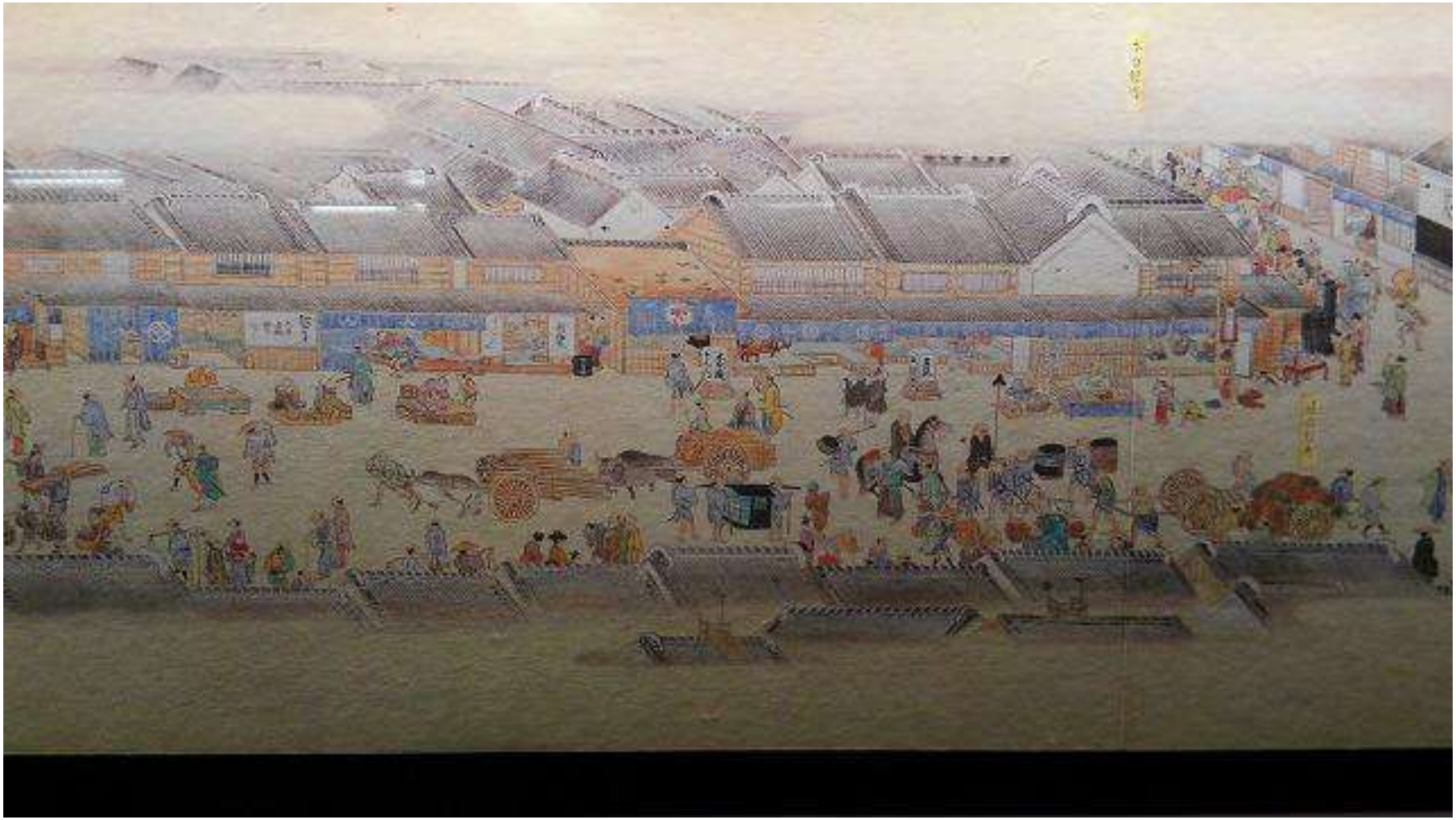
絵巻物の概観
神田今川橋



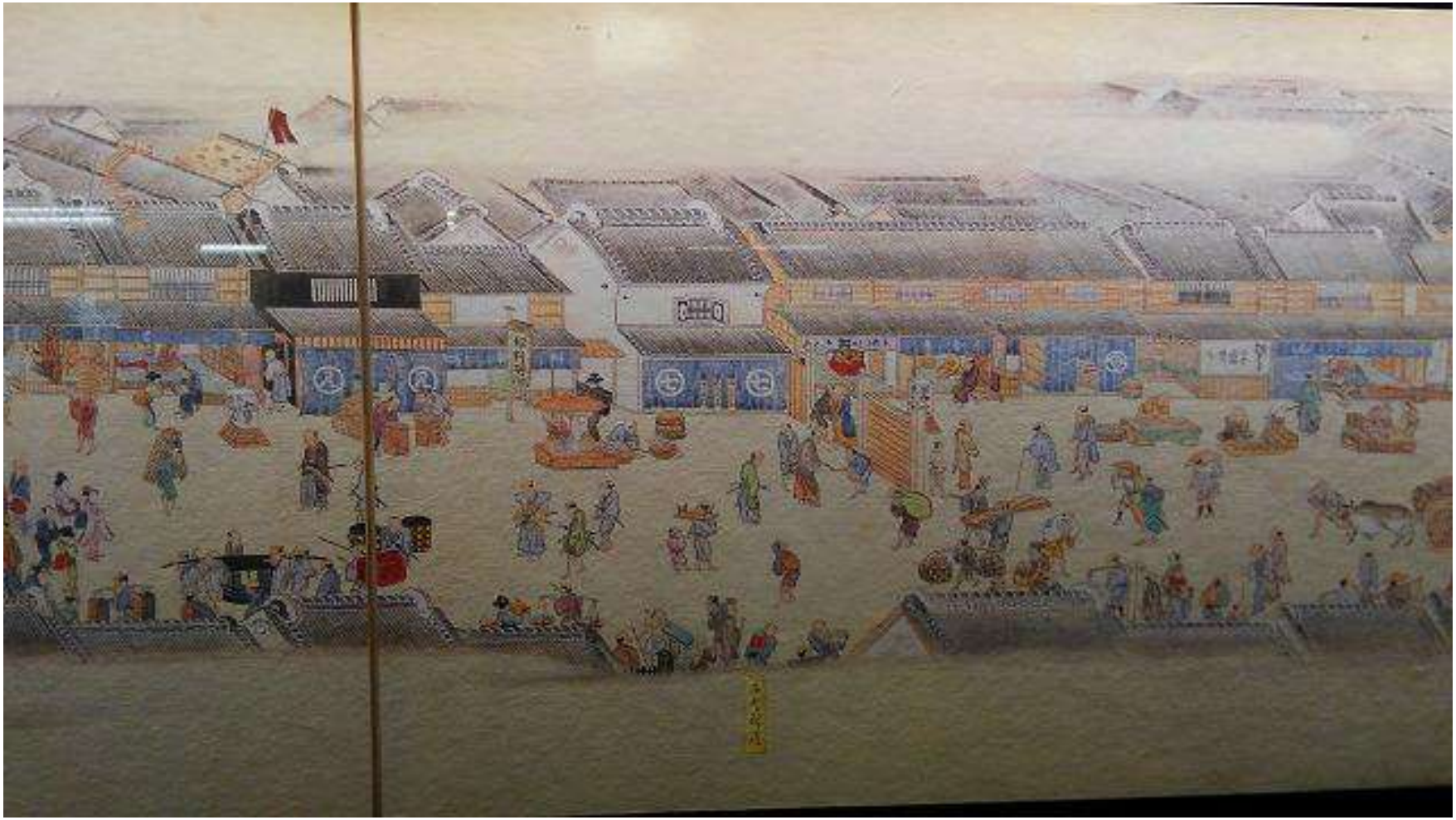
本銀町通り



本銀町二丁目



石町新道

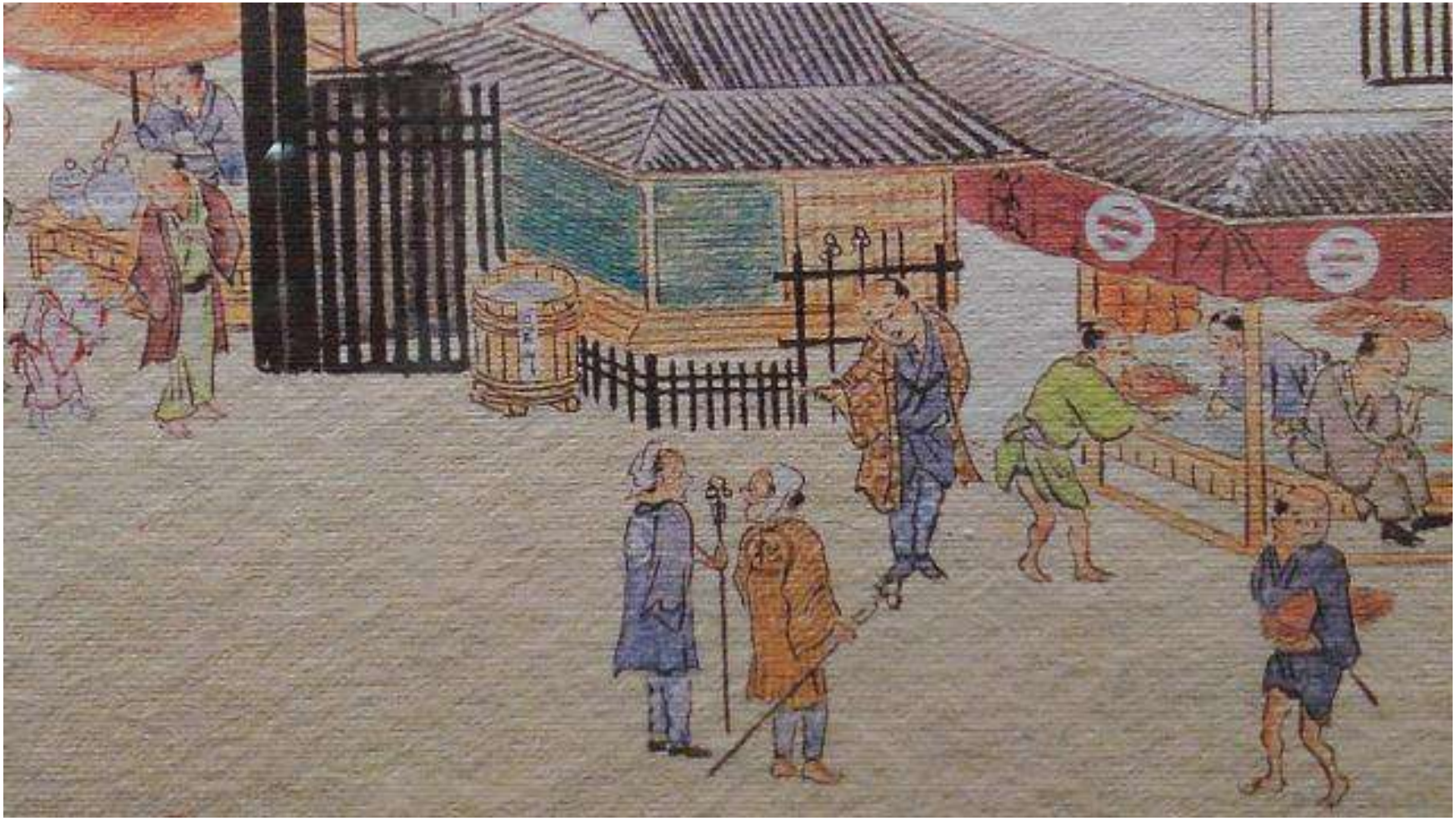


玉酢・翁屋庄兵衛

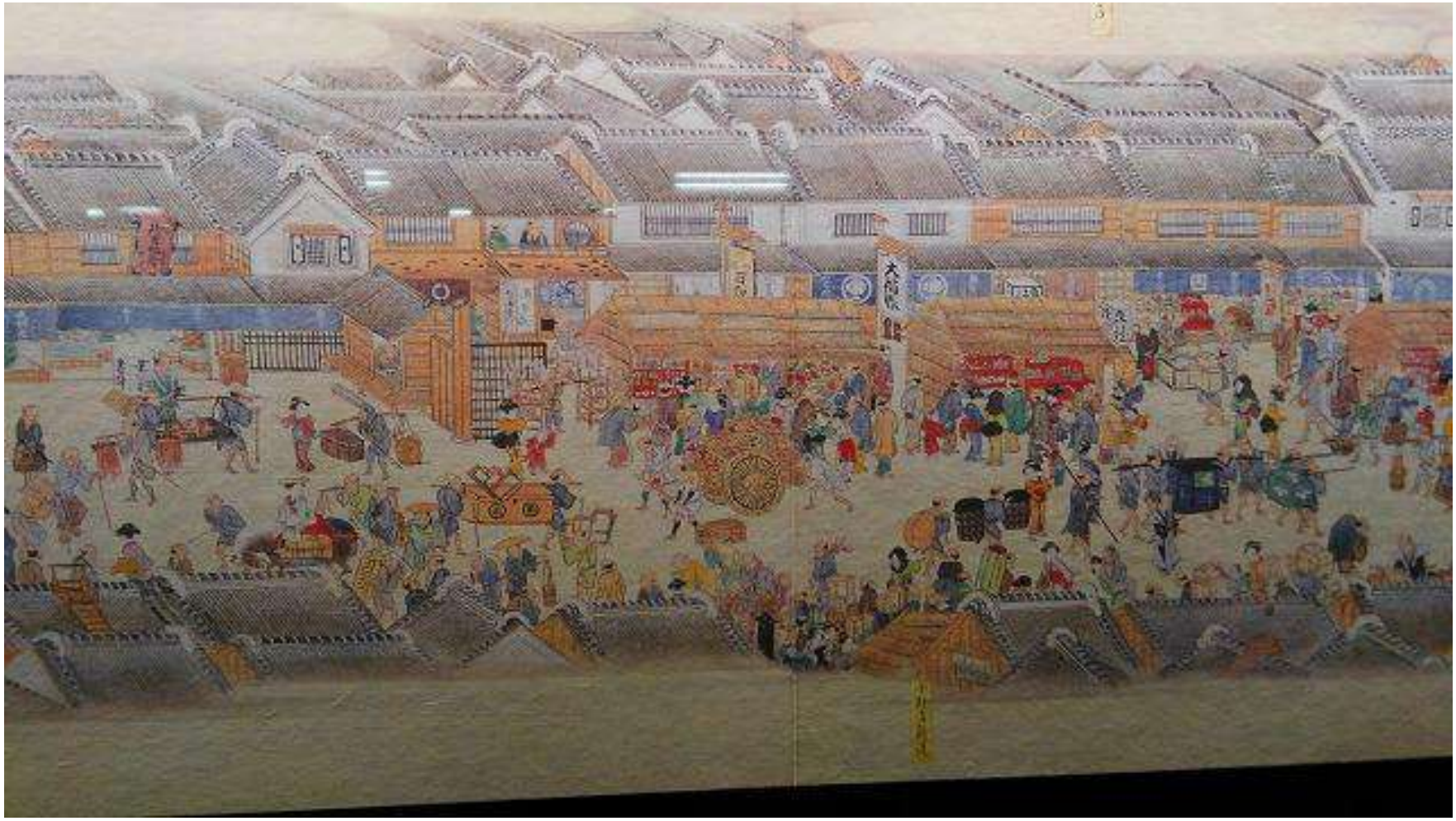
玉寿司

通石町
自信番屋・番小屋

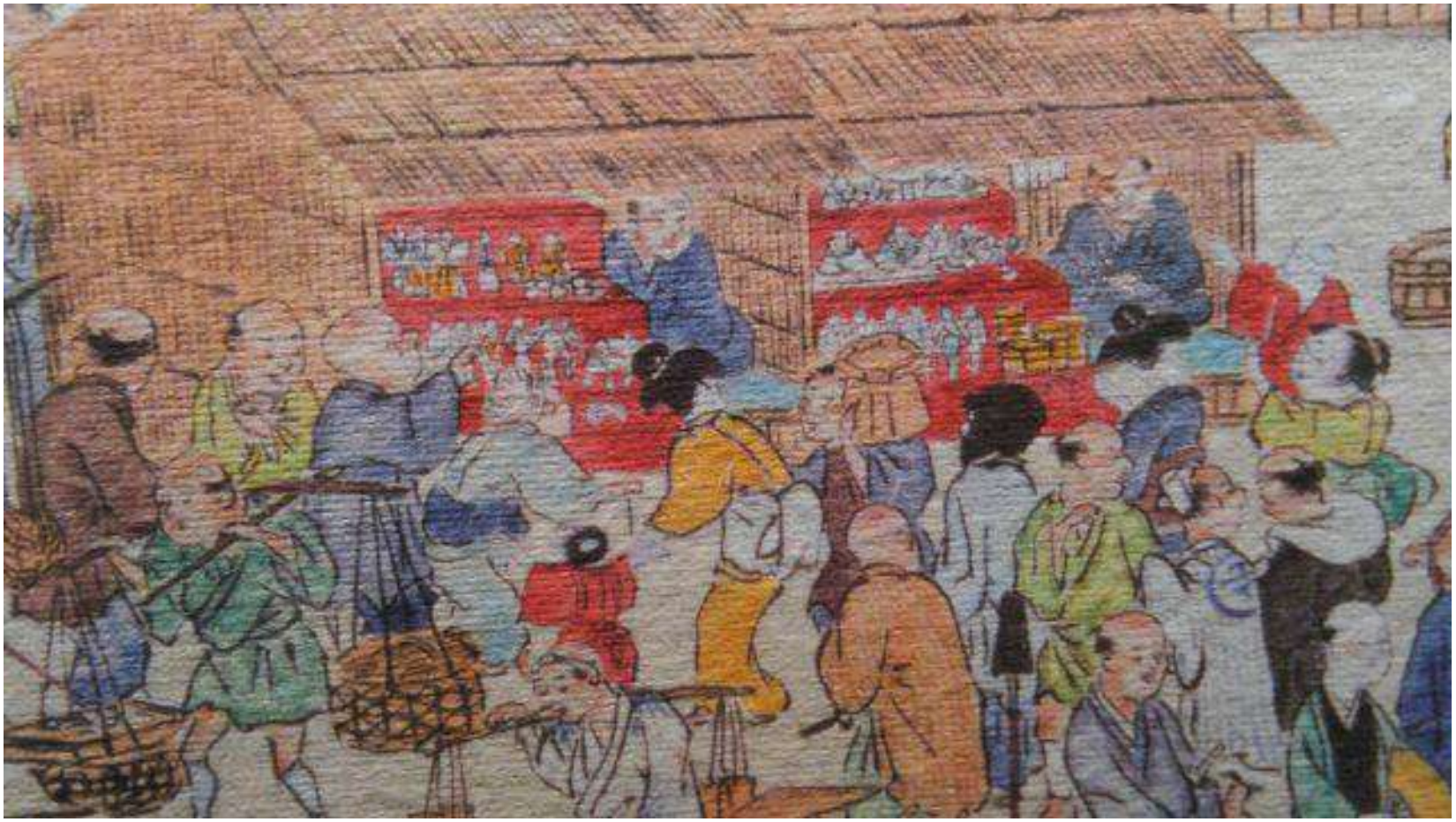
自身番屋



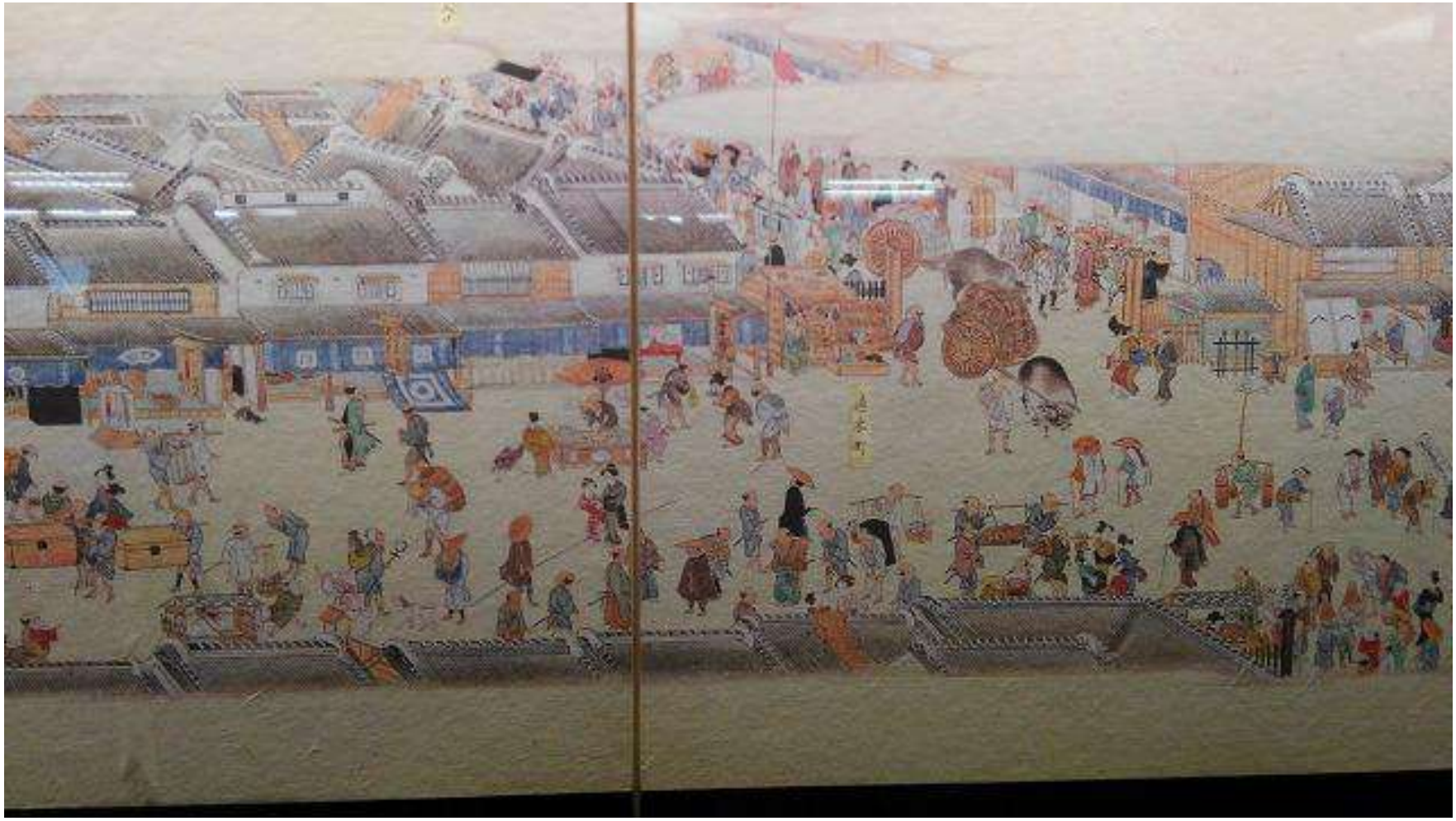
十軒店雛店



雛市

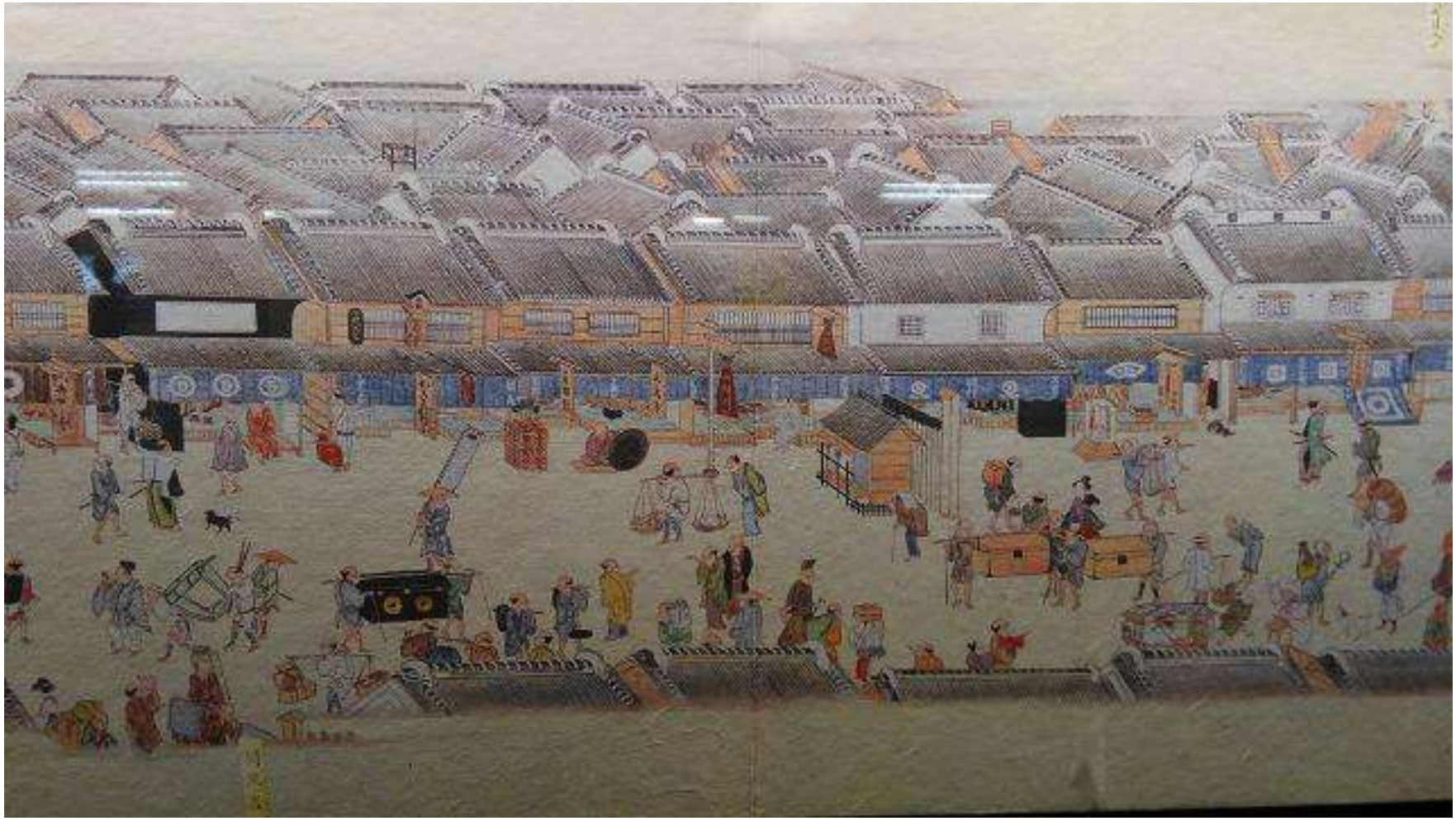


本町三丁目入口

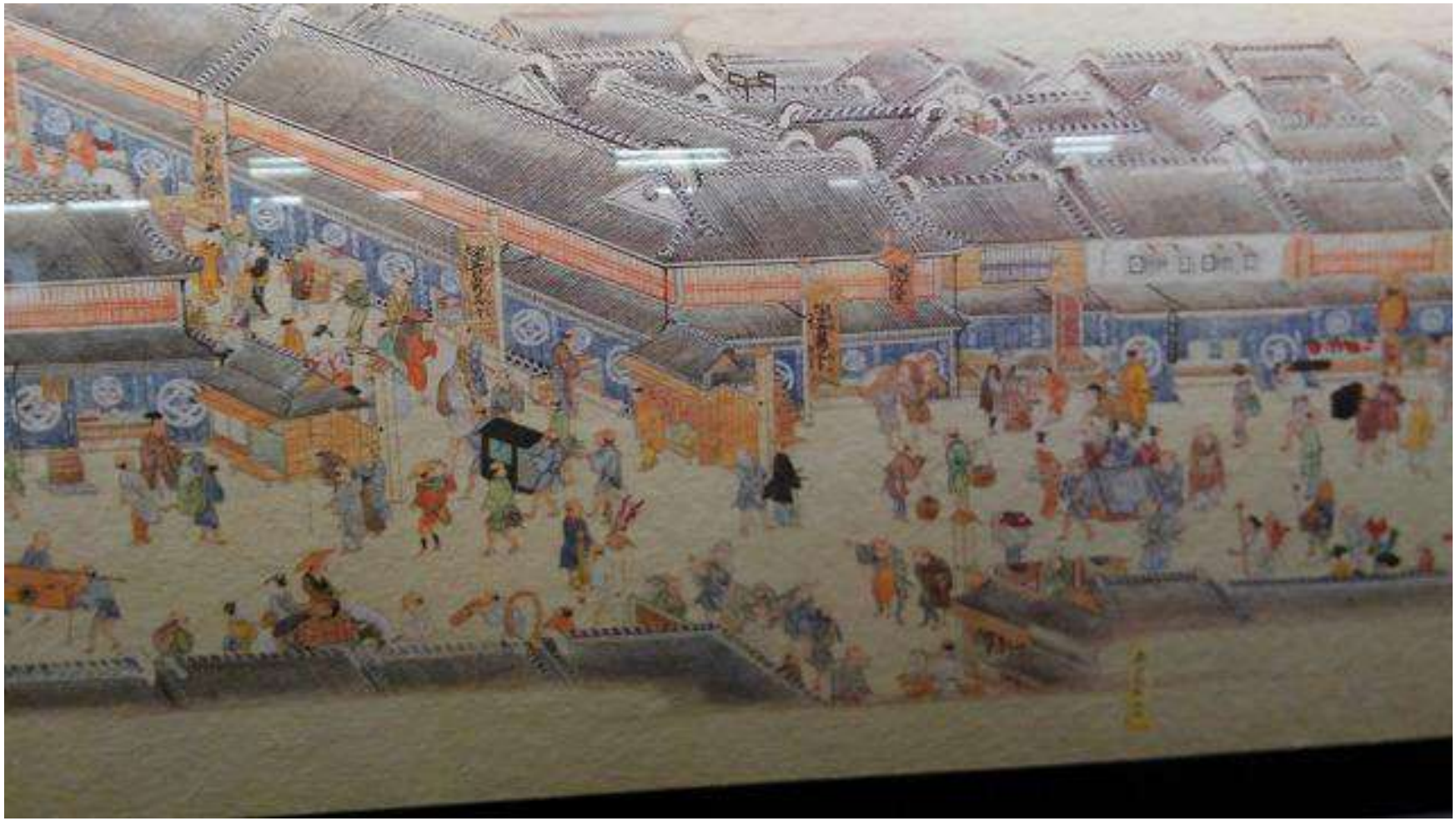


牛車

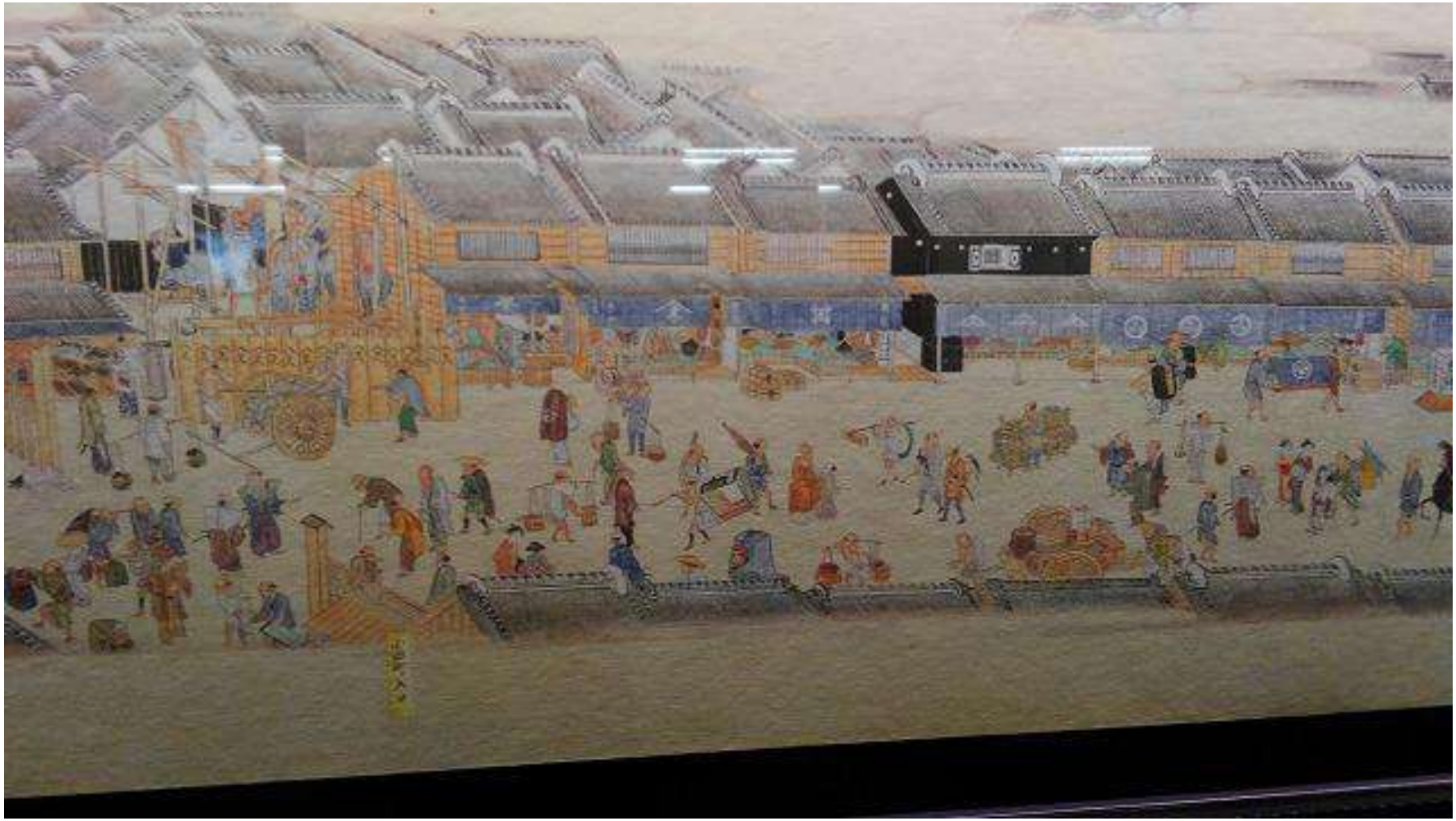
町木戸



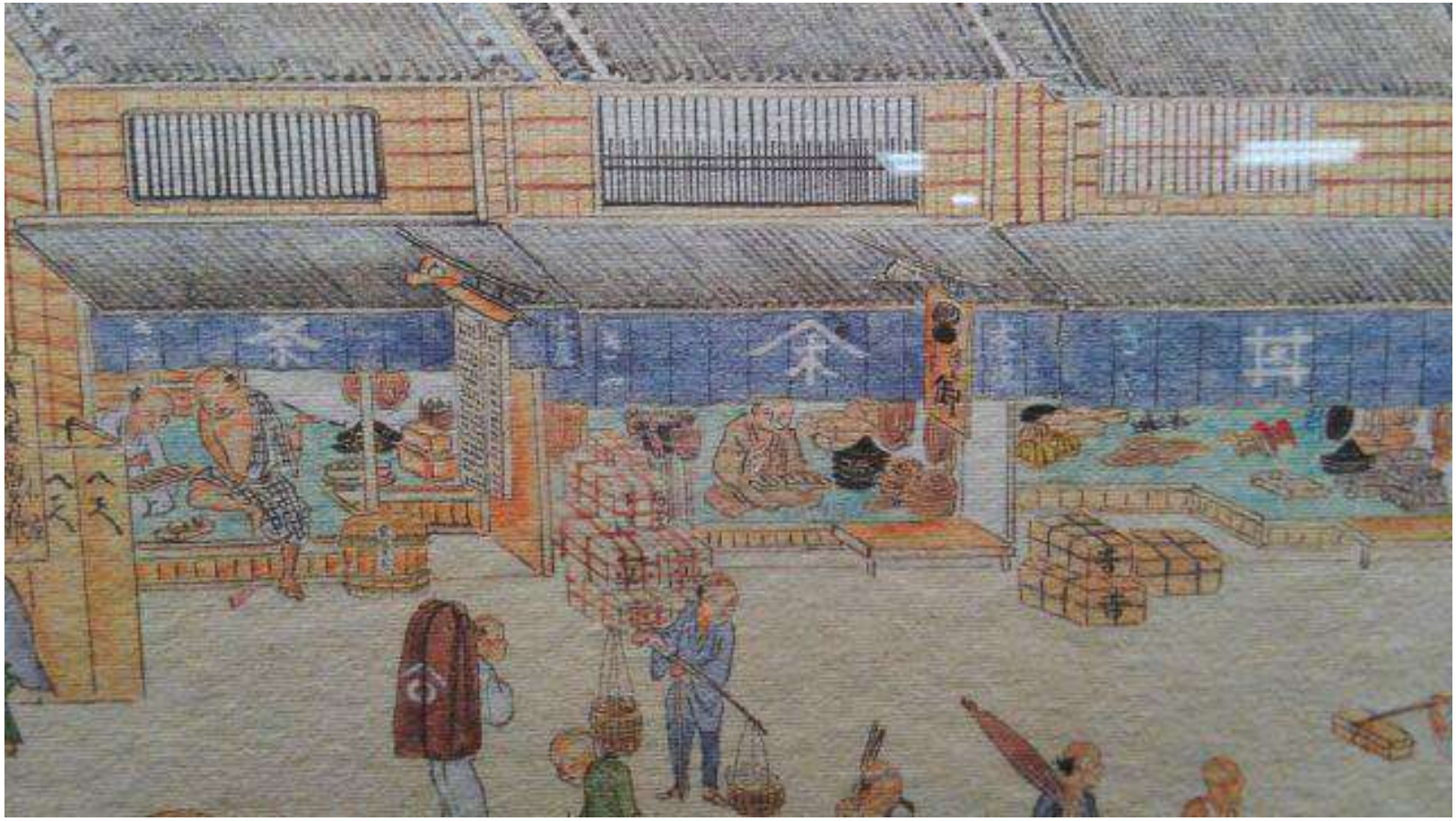
三井越後屋



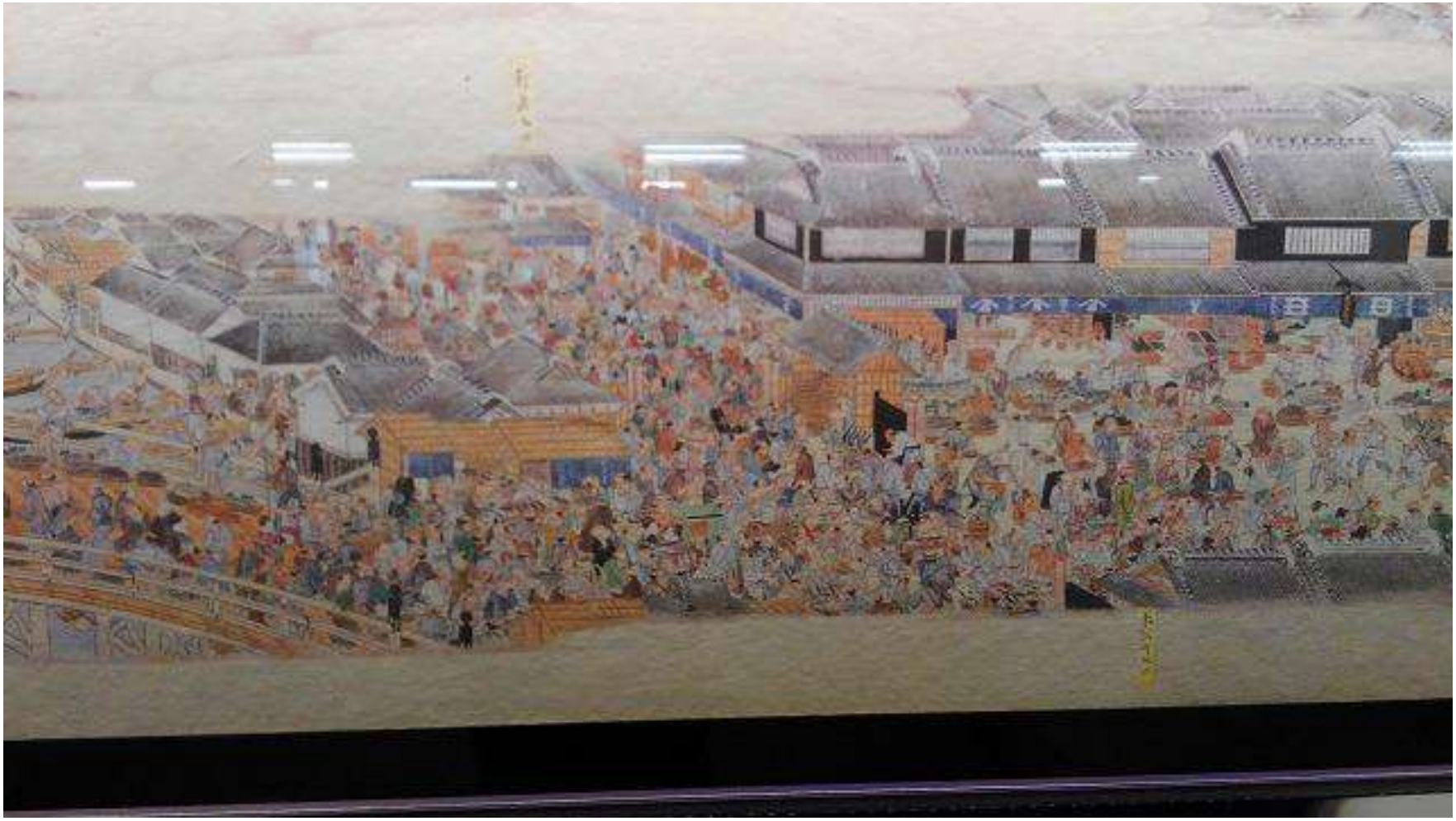
木屋



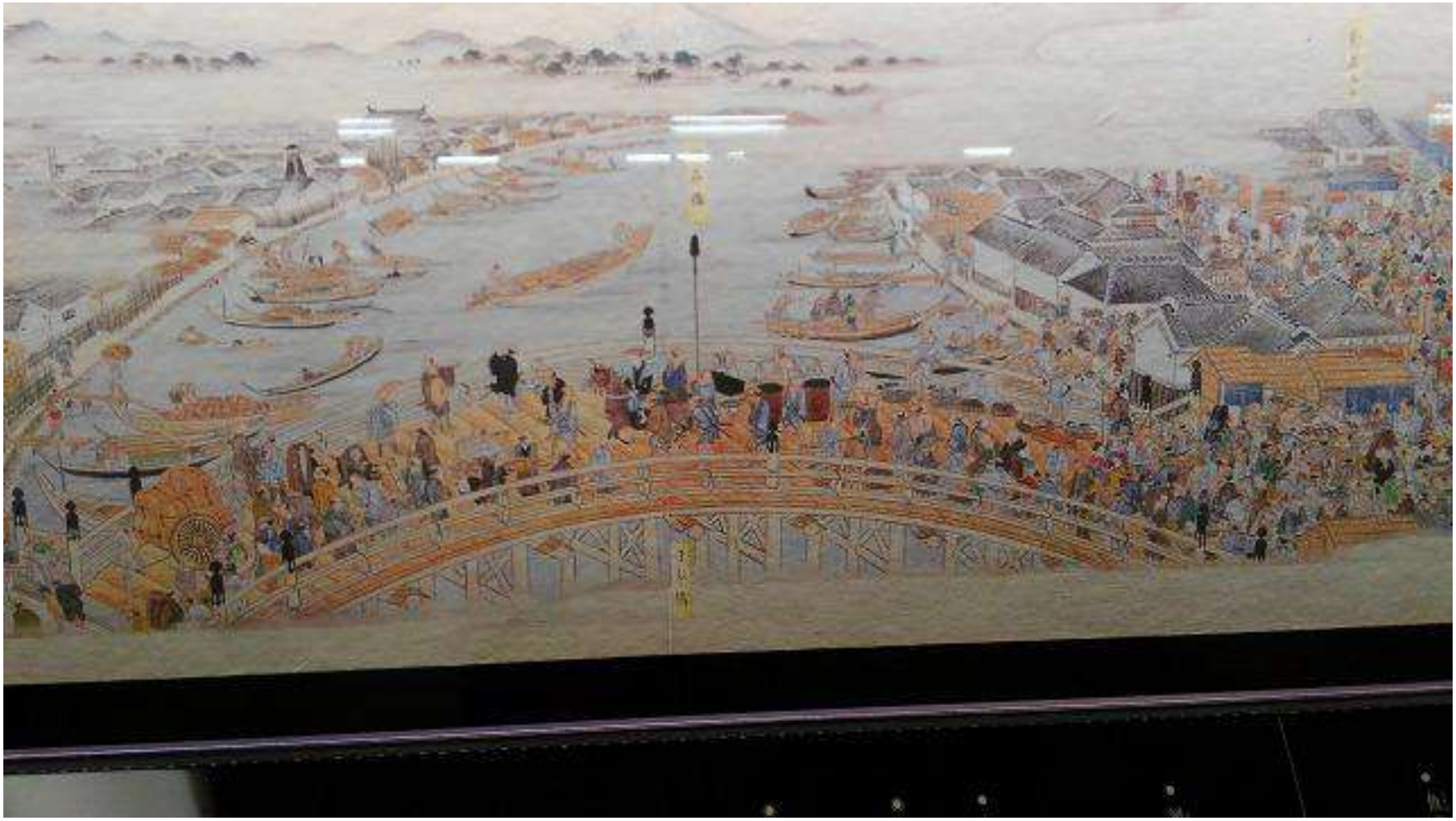
木屋



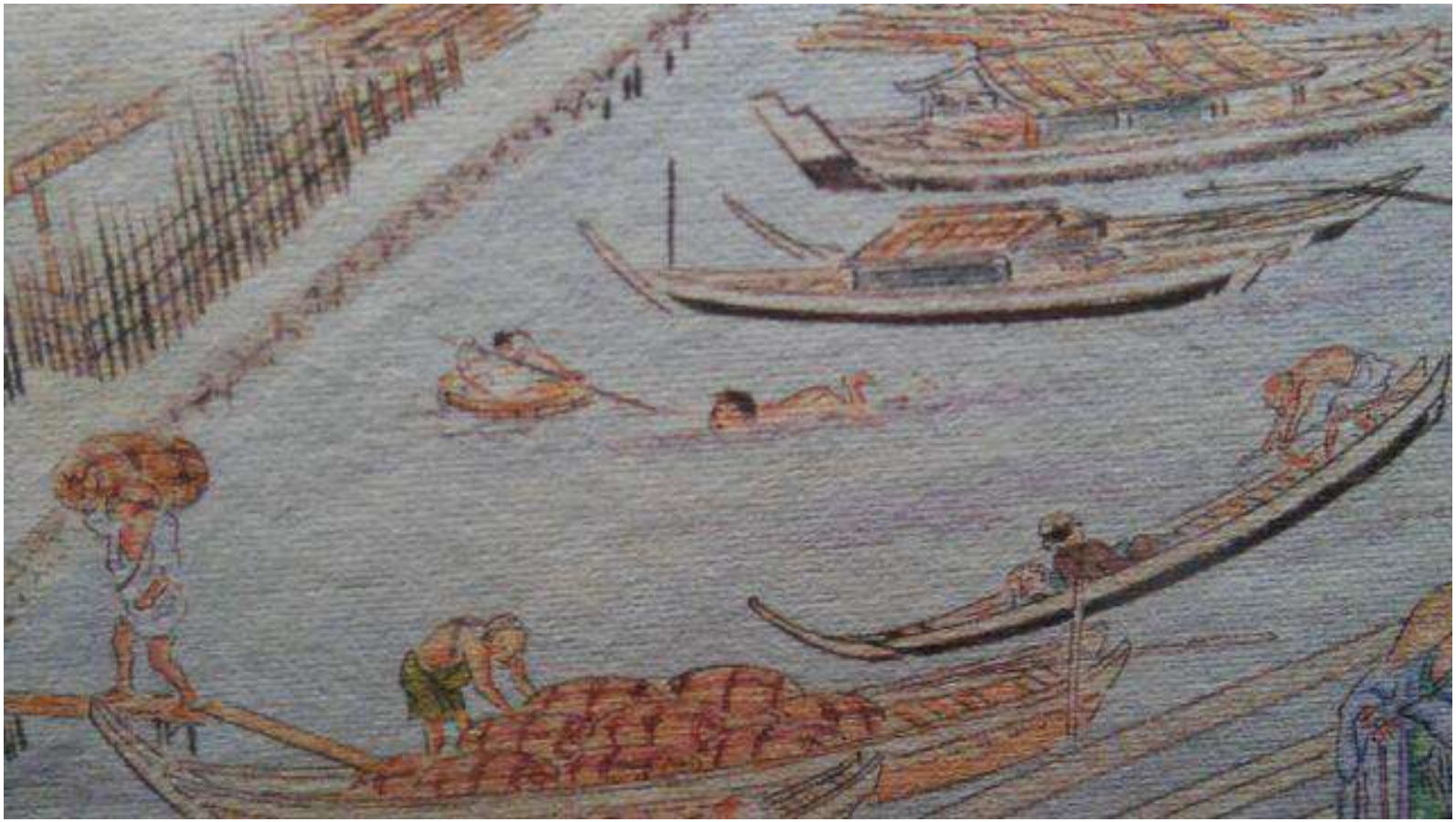
日本橋北橋詰の賑わい



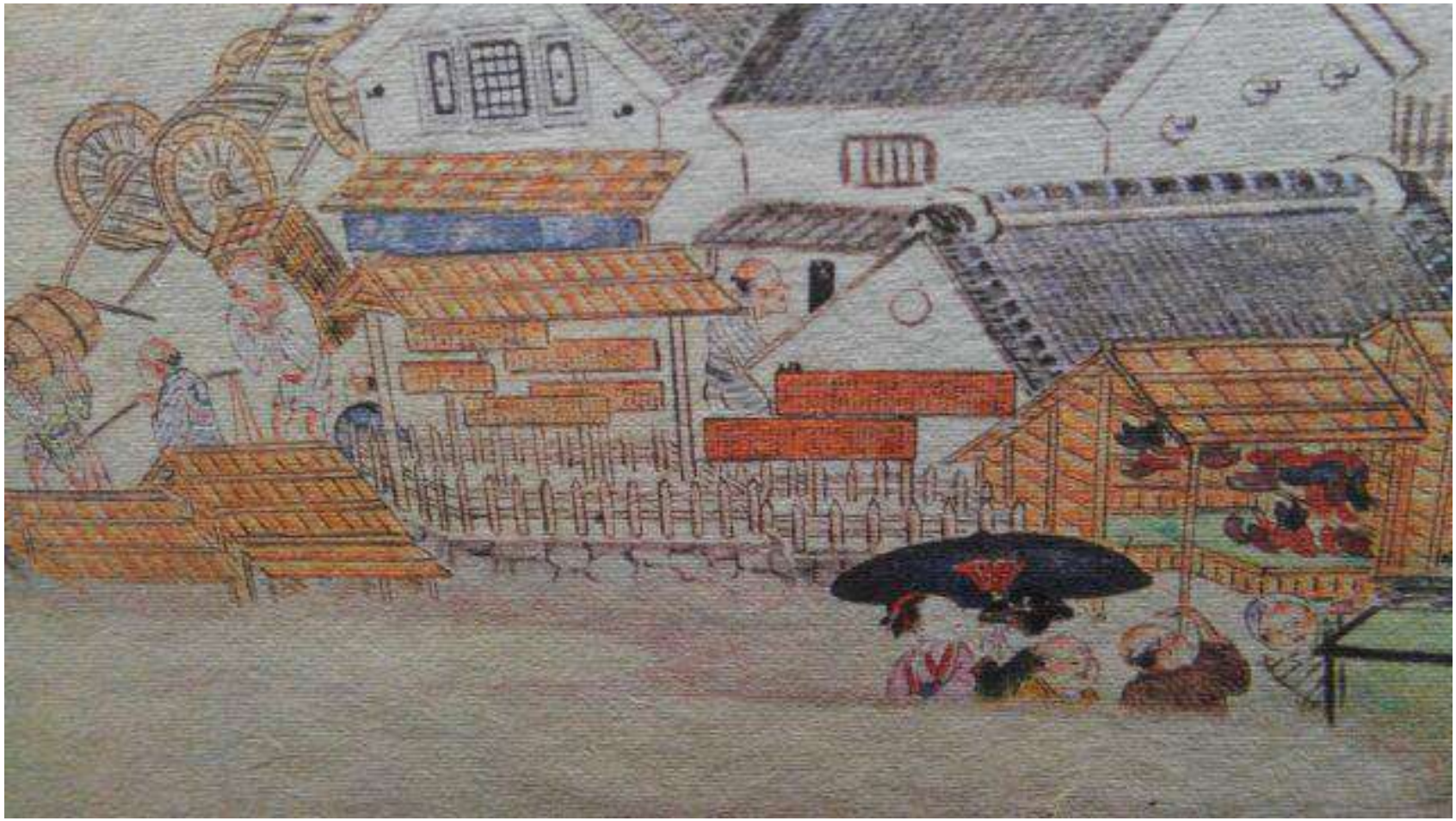
日本橋



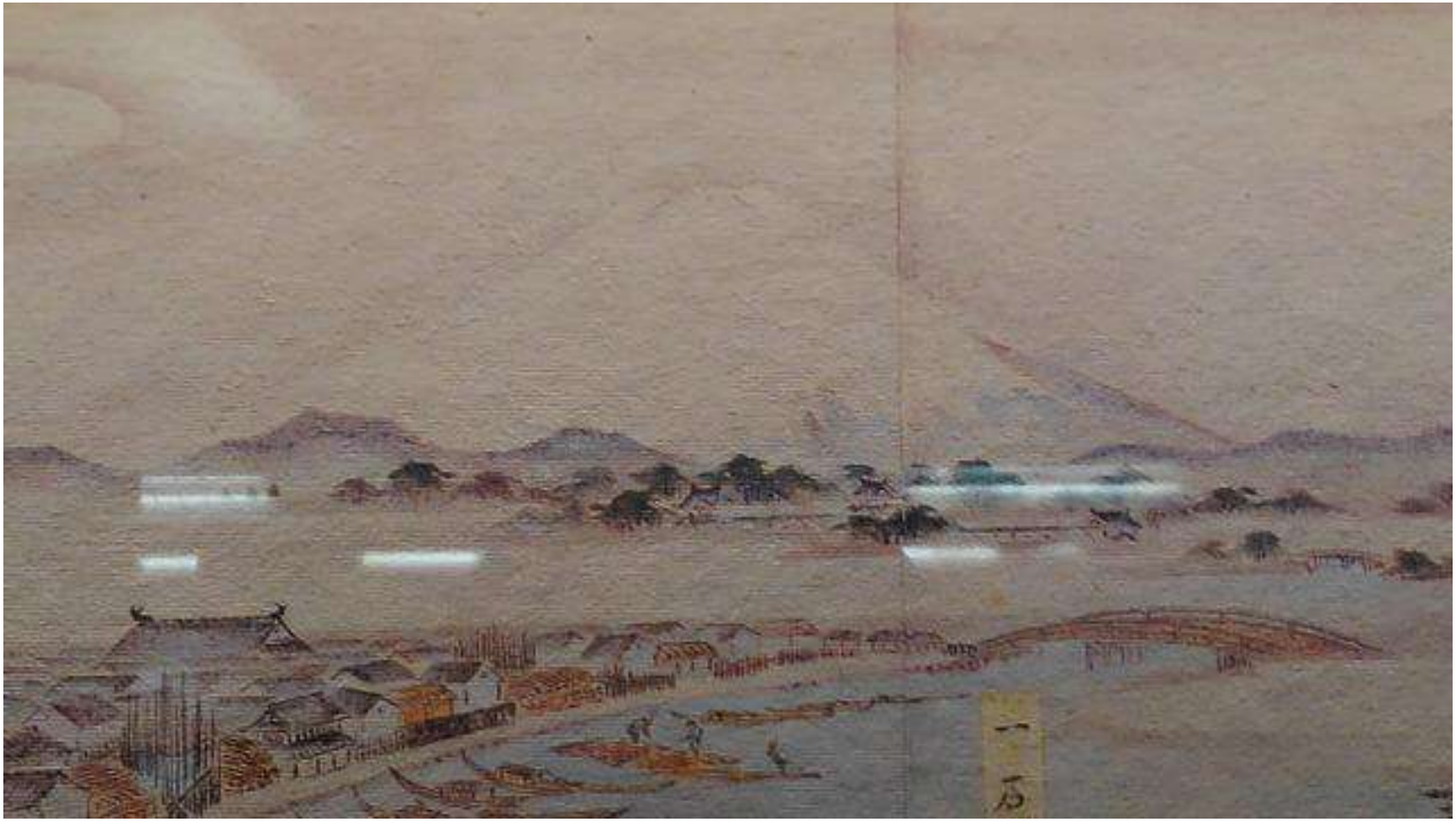
日本橋川で泳ぐ子ども



高札場



富士山



描かれた時代は？
ヒントは回向院の勧進の一行にあり

（文化二年：1805年）

江戸の成り立ち

1600年	関ヶ原の戦い
1603年	江戸幕府創立
1615年	大阪夏の陣、豊臣家滅亡
1657年	明暦の大火
1688年	元禄時代（（1703年）
1702年	赤穂浪士の討ち入り
1716年	徳川吉宗が将軍となる
1718年	江戸町火消制度を整備
1800年	伊能忠敬が蝦夷地を測量
1805年	文化二年
1853年	ペリーが浦賀に来航
1860年	桜田門外の変
1867年	大政奉還

様々な視点から見る
【職業】　読売

飛脚

鷹匠

猿飼

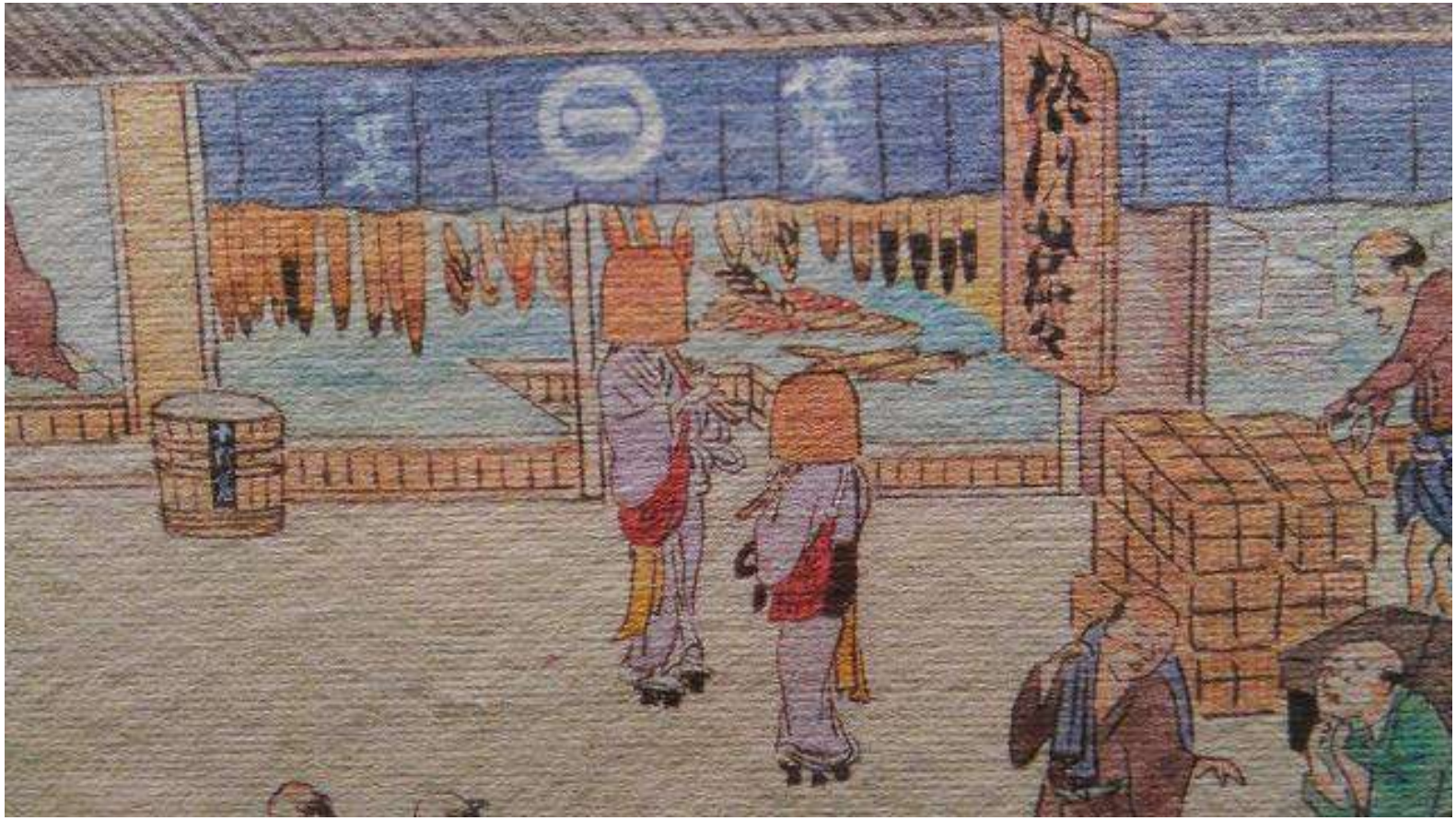
金山寺味噌売り

国分煙草売り

入歯屋

【宗教】　願人坊主

虚無僧



金毘羅詣で

六十六部

巡礼

子どもの抜け参り

犬の代参

伊勢参宮宮川の渡し（歌川広重）

（おかげ横丁・おかげ座）

【江戸の市民社会】

●江戸の自治

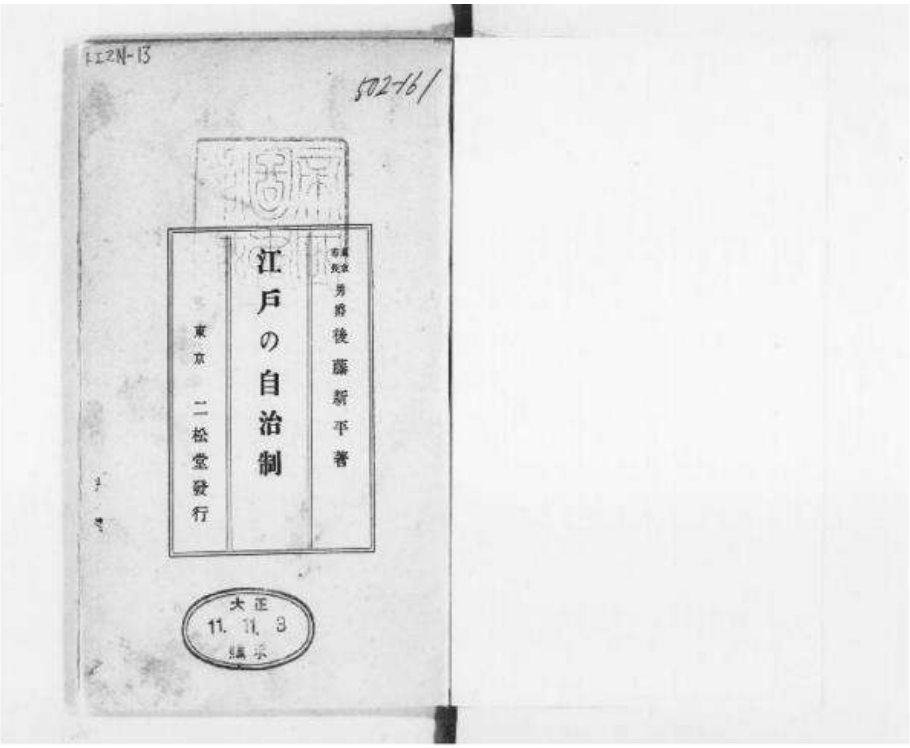
●江戸の教育

●江戸の消防

●江戸の3R

＜リユース、リデュース、リサイクル＞

江戸の自治制（後藤新平　二松堂）



（出典：国立国会図書館　近代デジタルライブライ）

○江戸町奉行

南町奉行（数寄屋橋内）　166人

北町奉行（呉服橋内）　166人　計332人

＜内訳＞

- 町奉行　各1人　計　2人
- 与力　各25人　計　50人
- 同心　各140人　計 280人

合計　332人

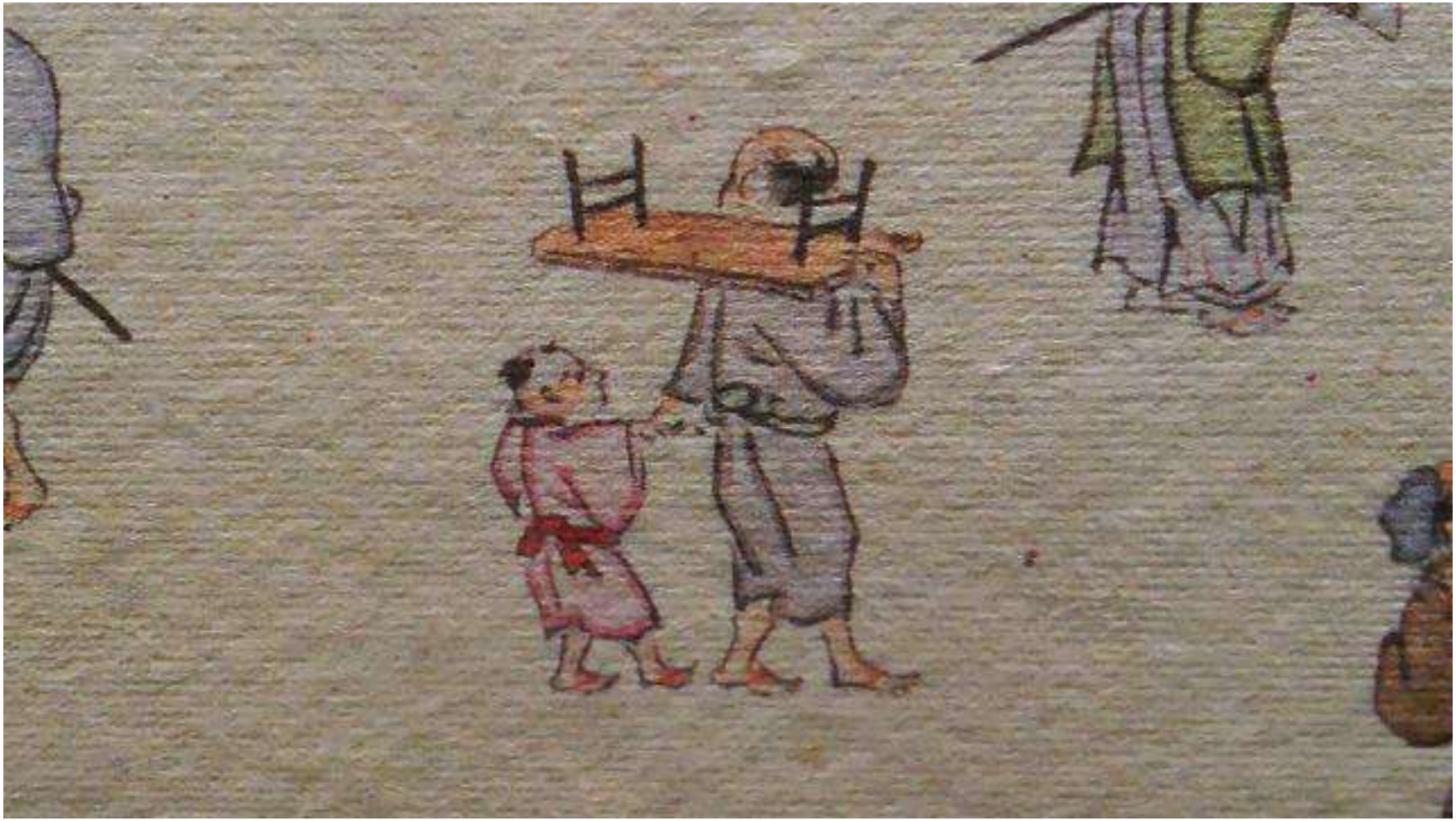
○町役人

町年寄り（総町を自治）　3人（樽屋、奈良屋、喜多村）

町名主（若干町を自治）　264人（享保8年）

五人組（江戸では家守＝大家）約2万人

【江戸の教育】 寺子屋に入門



手習いの帰り

書肆（須原屋市兵衛）

貸本屋

教育の仕組み

武　士	幕府の官学	昌平坂学問所
	諸藩（藩校）	247校
町　方	寺子屋	15,506校
	（江戸市中に、1200～1300校）	

（参考）　高野俊「日本教育の源流」　梅原徹「日本史小百科　学校」

湯島聖堂（昌平坂学問所）

（出典：公益財団法人斯文会HP）

寺子屋

（出典：町屋と町人　学習研究社）

江戸の消防

武家の火消　　大名火消、定火消

町方の火消　　いろは四十八組、本所深川十六組

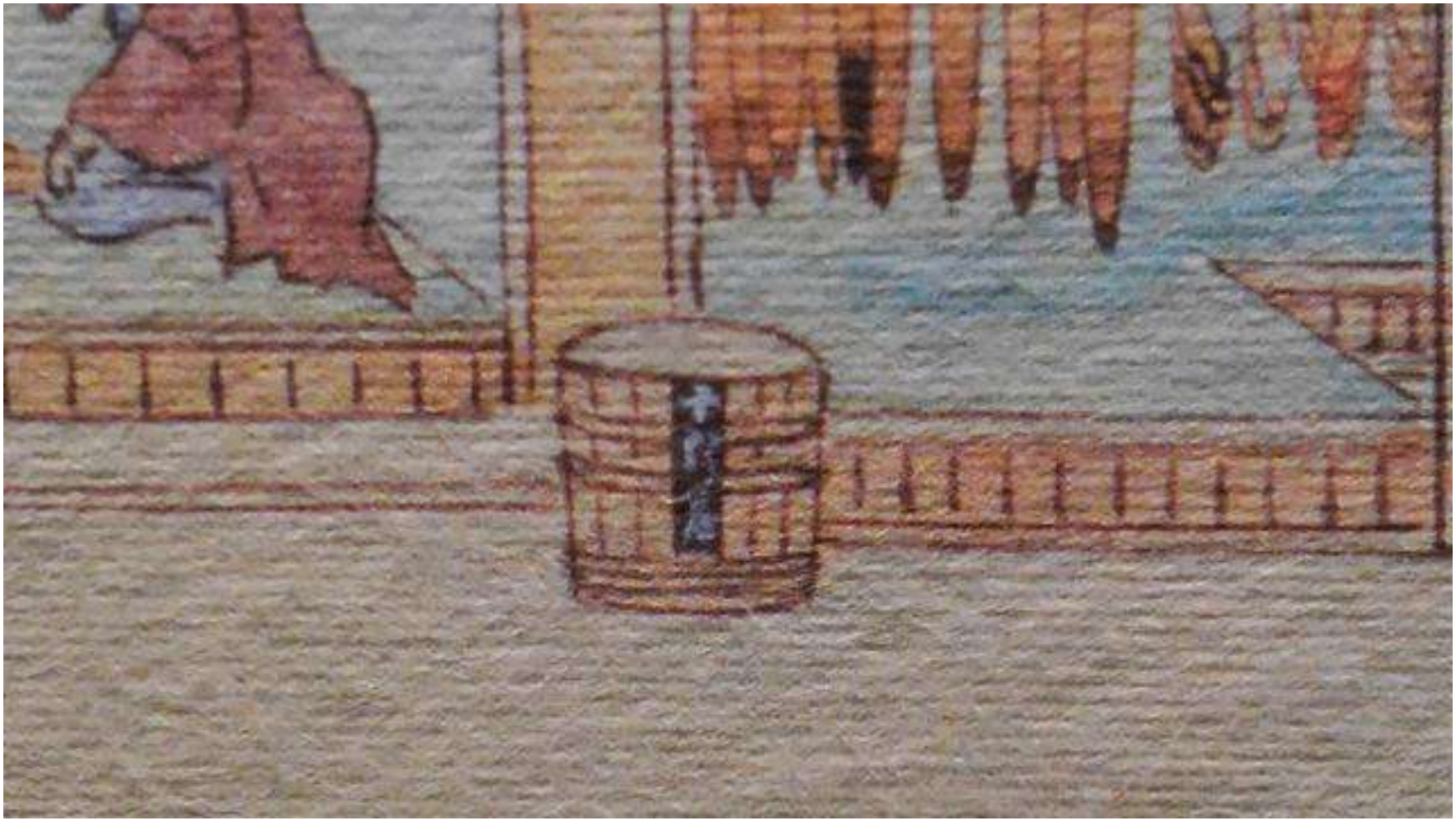
＊町奉行大岡忠相が設置

＊鳶人足による破壊消防

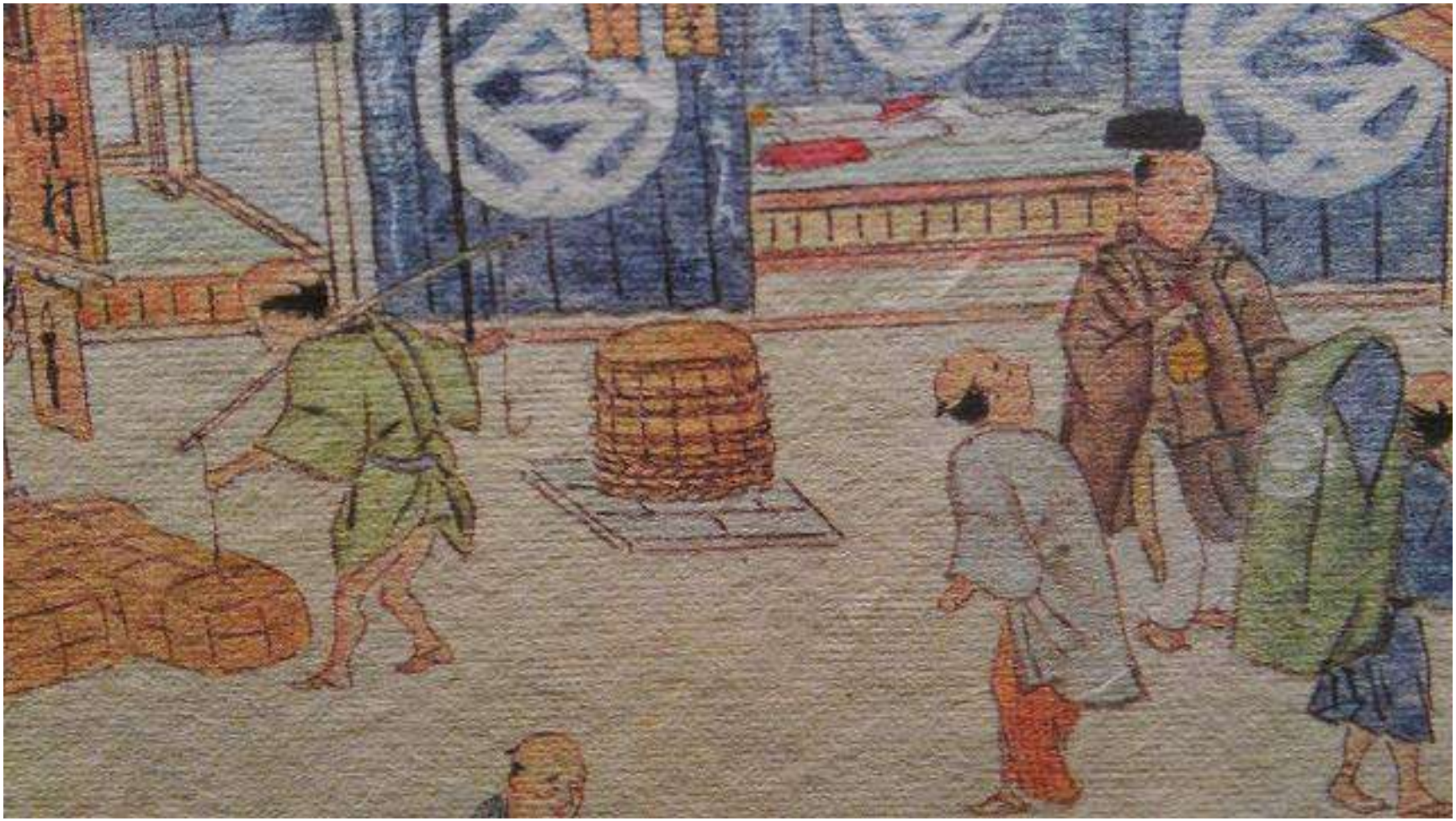
＊命がけのボランティア活動

天水と風見

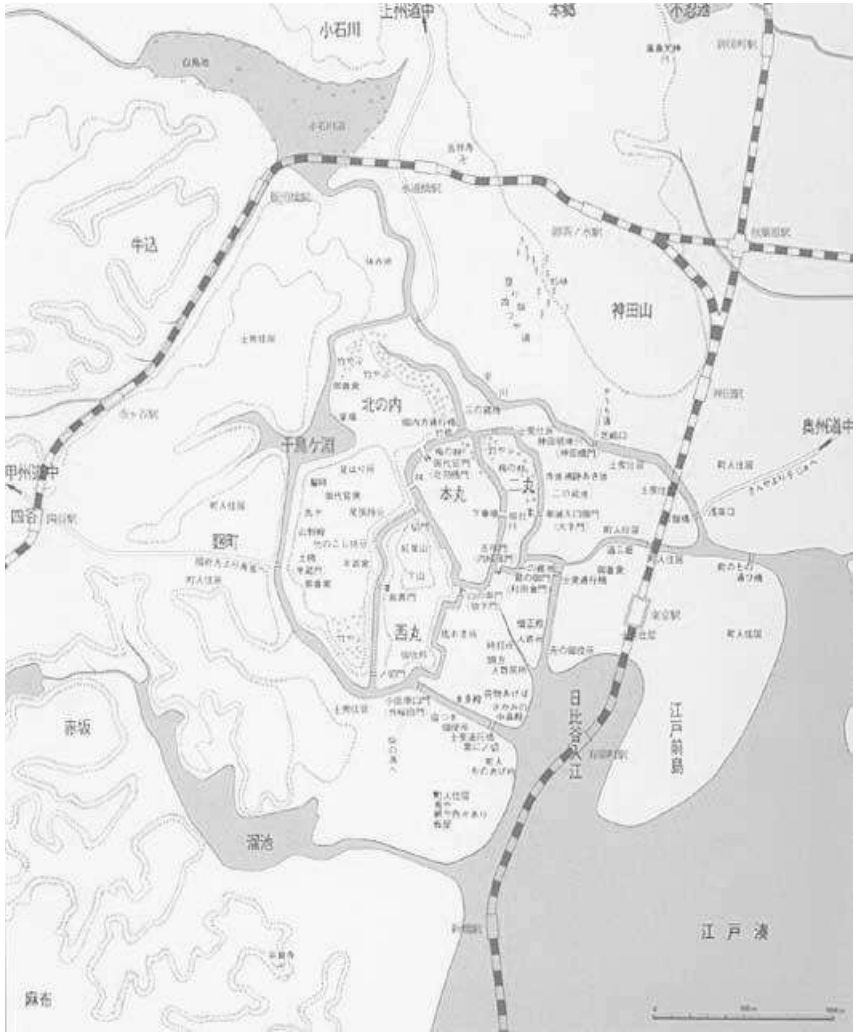
水　桶



井 戸



江戸の第一次建設　1602年(慶長7年)ごろ



【出典:江戸の町(上)　巨大都市の誕生　内藤昌著／穂積和夫画　草思社　】

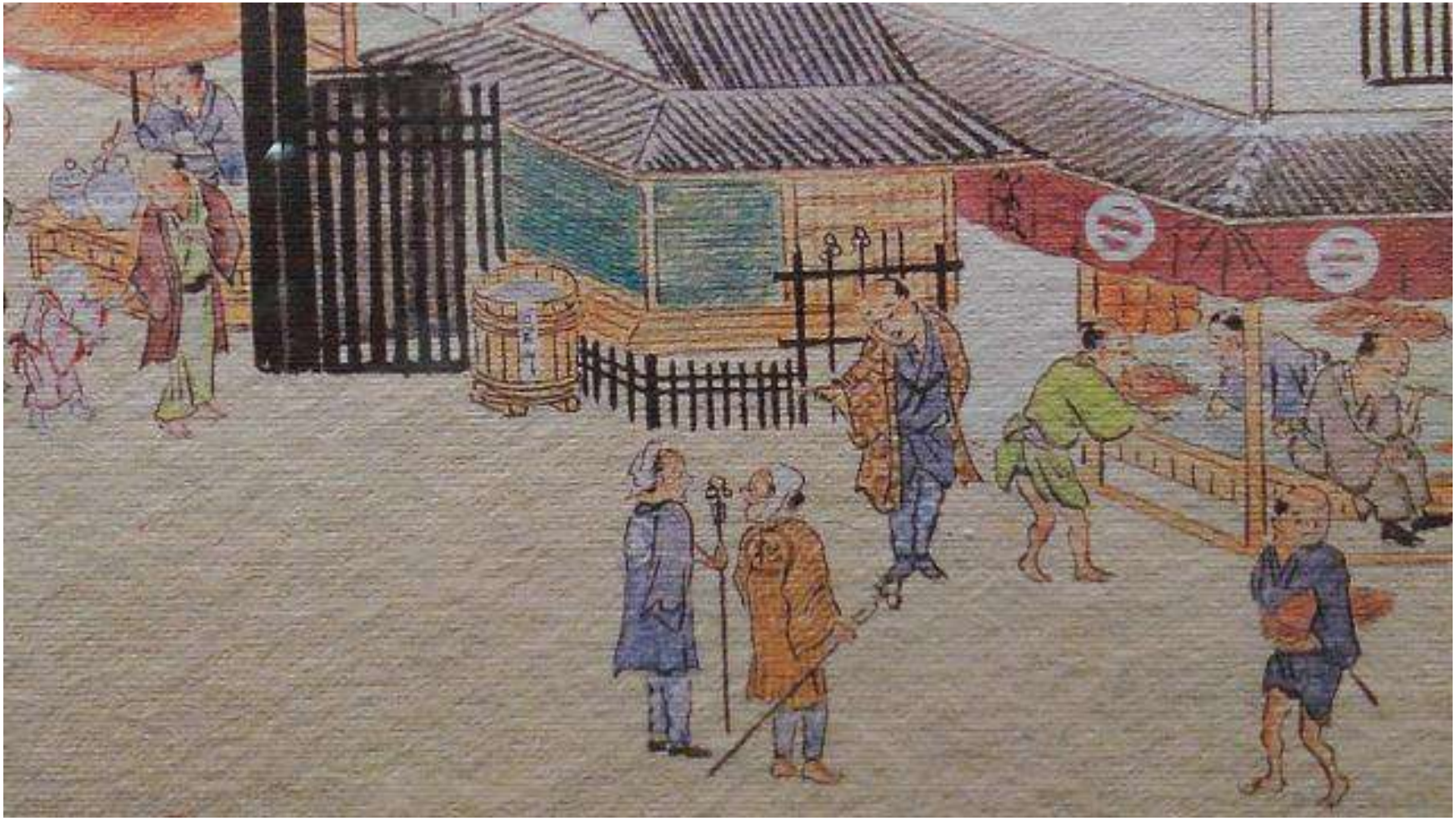
水道橋

（出典：東京都水道歴史館HPより）

長屋の井戸

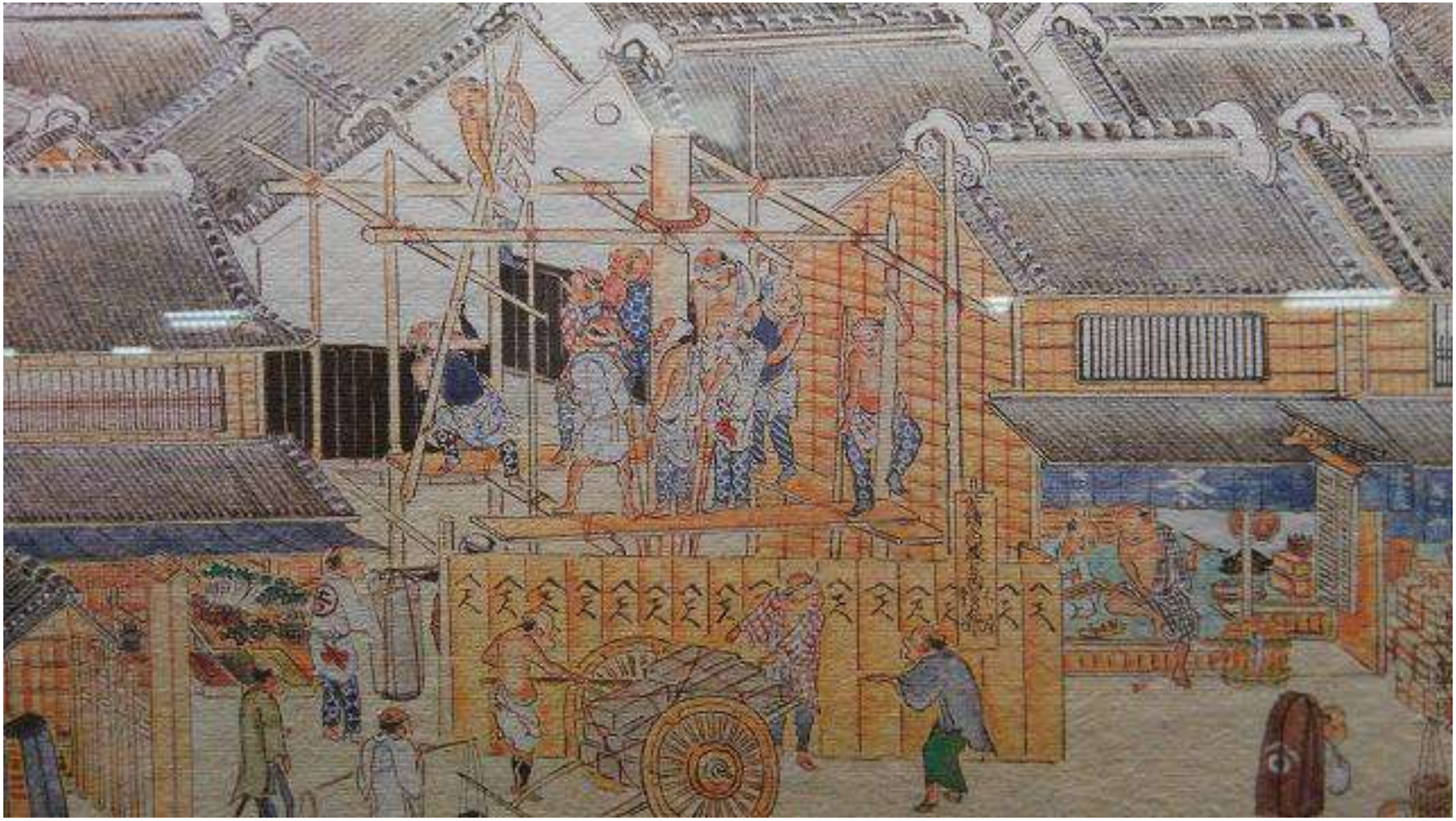
（出典：東京都水道歴史館HPより）

自身番屋と鳶



鳶口

普請中の木屋



地域の顔役 （喧嘩の仲裁）

町火消

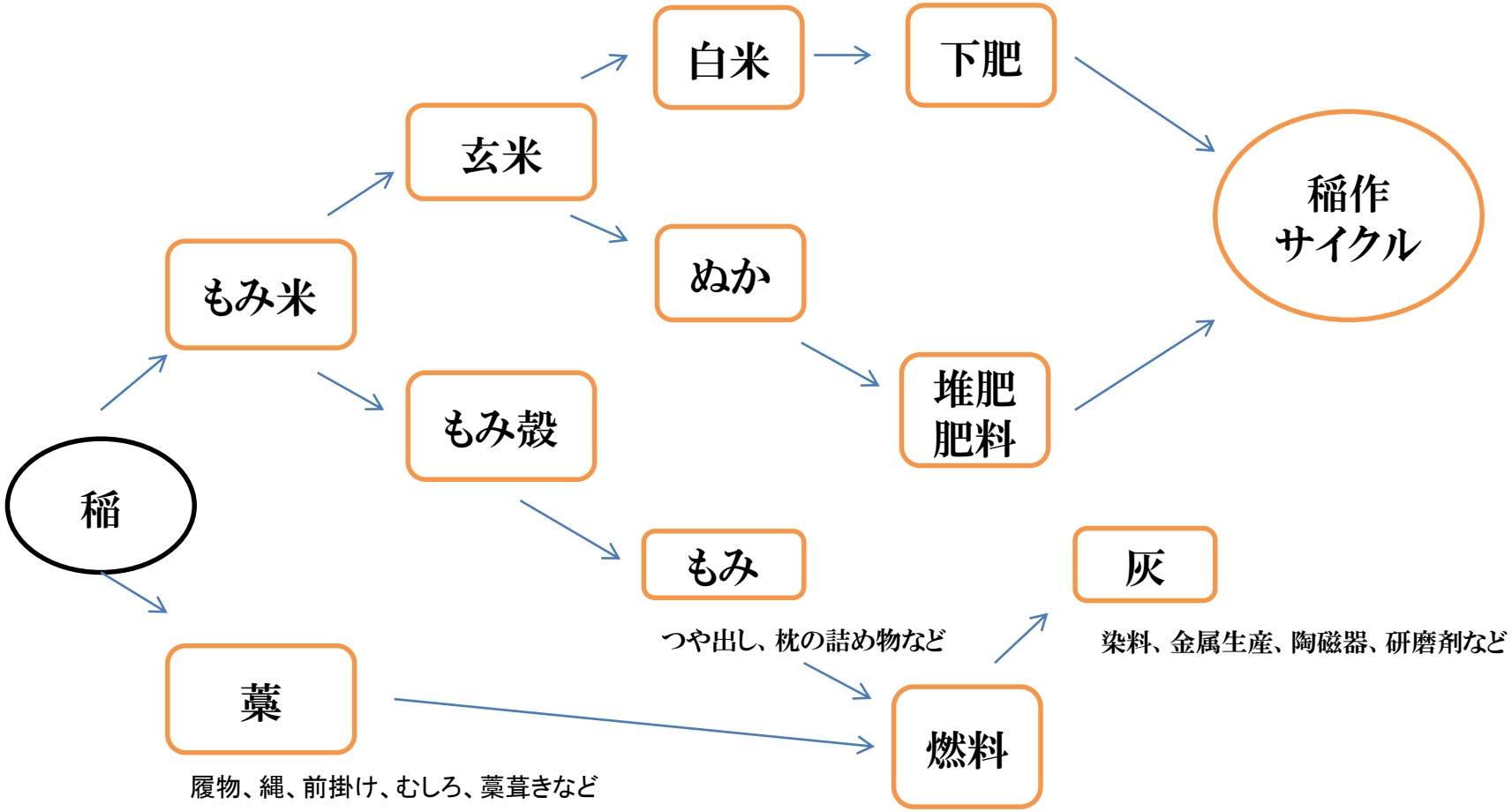
（出典:江戸之華　広重）

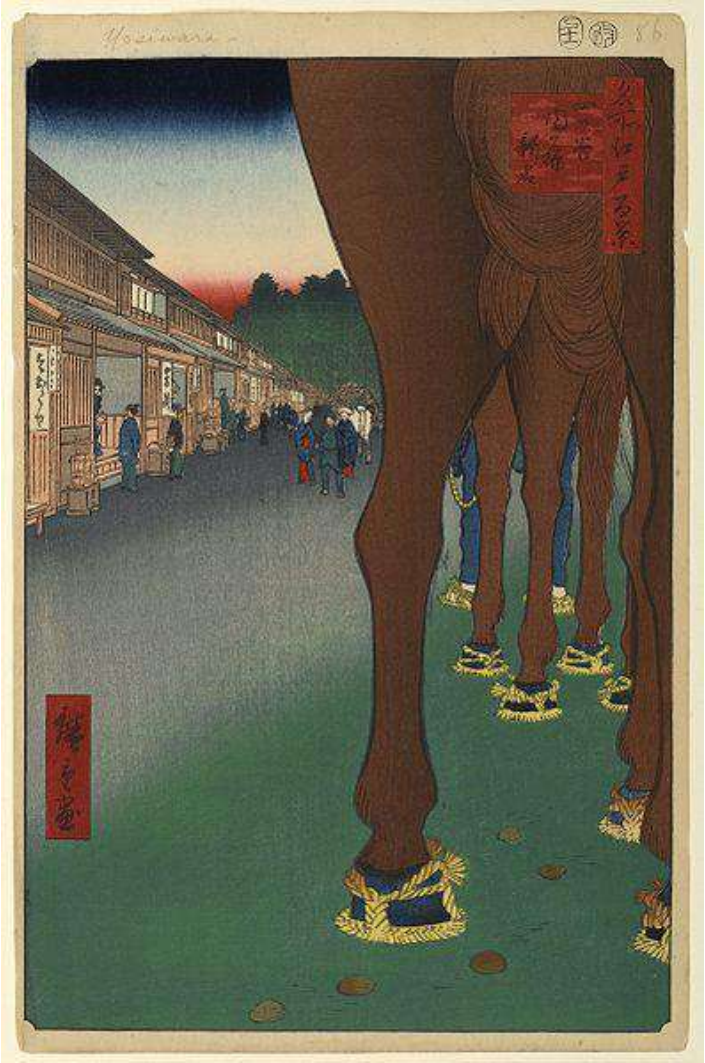
【江戸と米】米俵を運ぶ牛車

搗き米屋

江戸患い

稲作のサイクル


稲
もみ米
藁
玄米
もみ殻
白米
ぬか
もみ
下肥
堆肥
肥料
燃料
灰
稲作
サイクル
つや出し、枕の詰め物など
染料、金属生産、陶磁器、研磨剤など
履物、縄、前掛け、むしろ、藁葺きなど



歌川広重　名所江戸百景　四谷内藤新宿

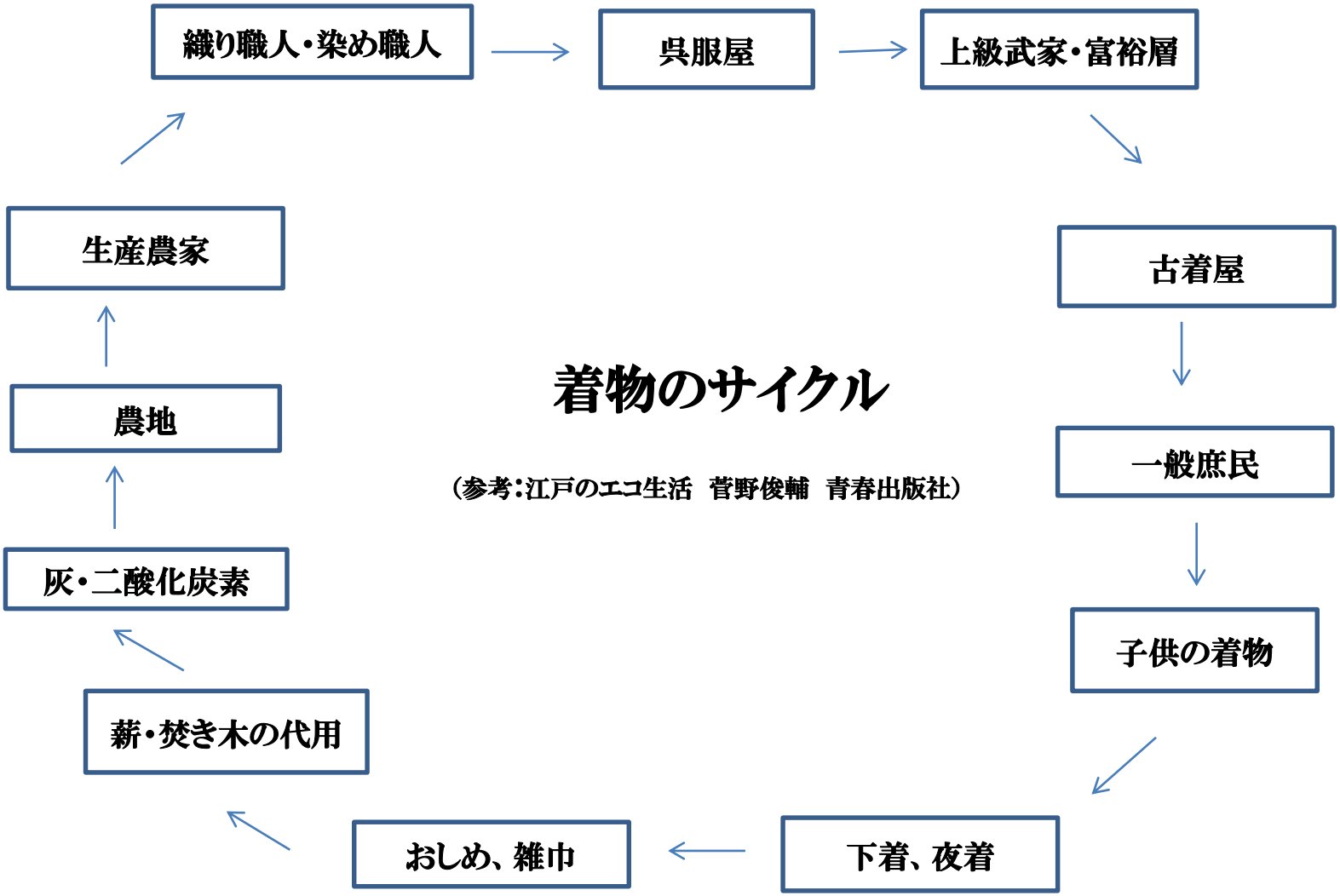
【江戸と着物】 三井越後屋

新しい着物

古着売り

着物のサイクル

（参考：江戸のエコ生活　菅野俊輔　青春出版社）



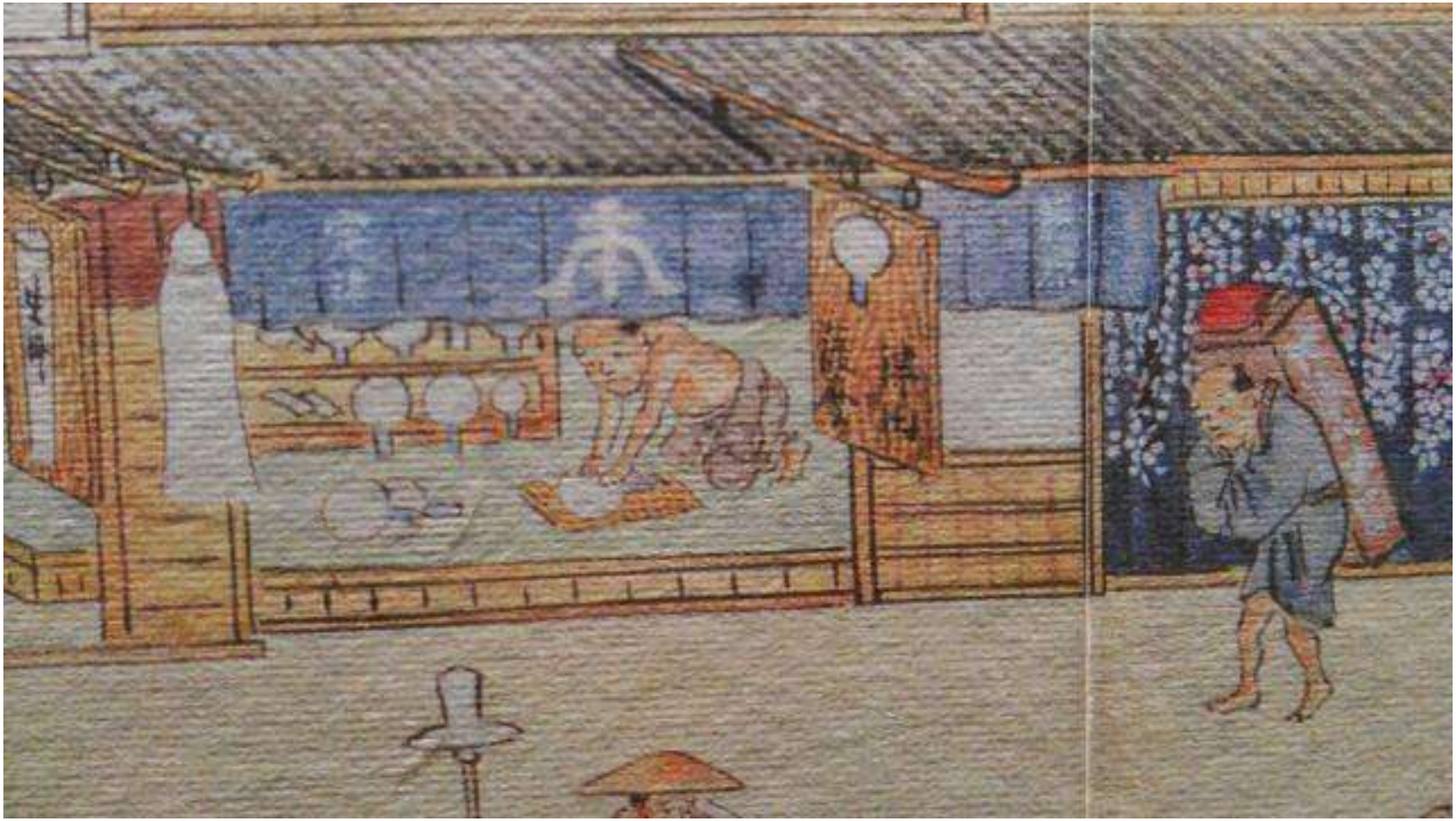
もったいない

もったいない
　＝勿体（物の本体）がなくなるまで、使い尽くすこと

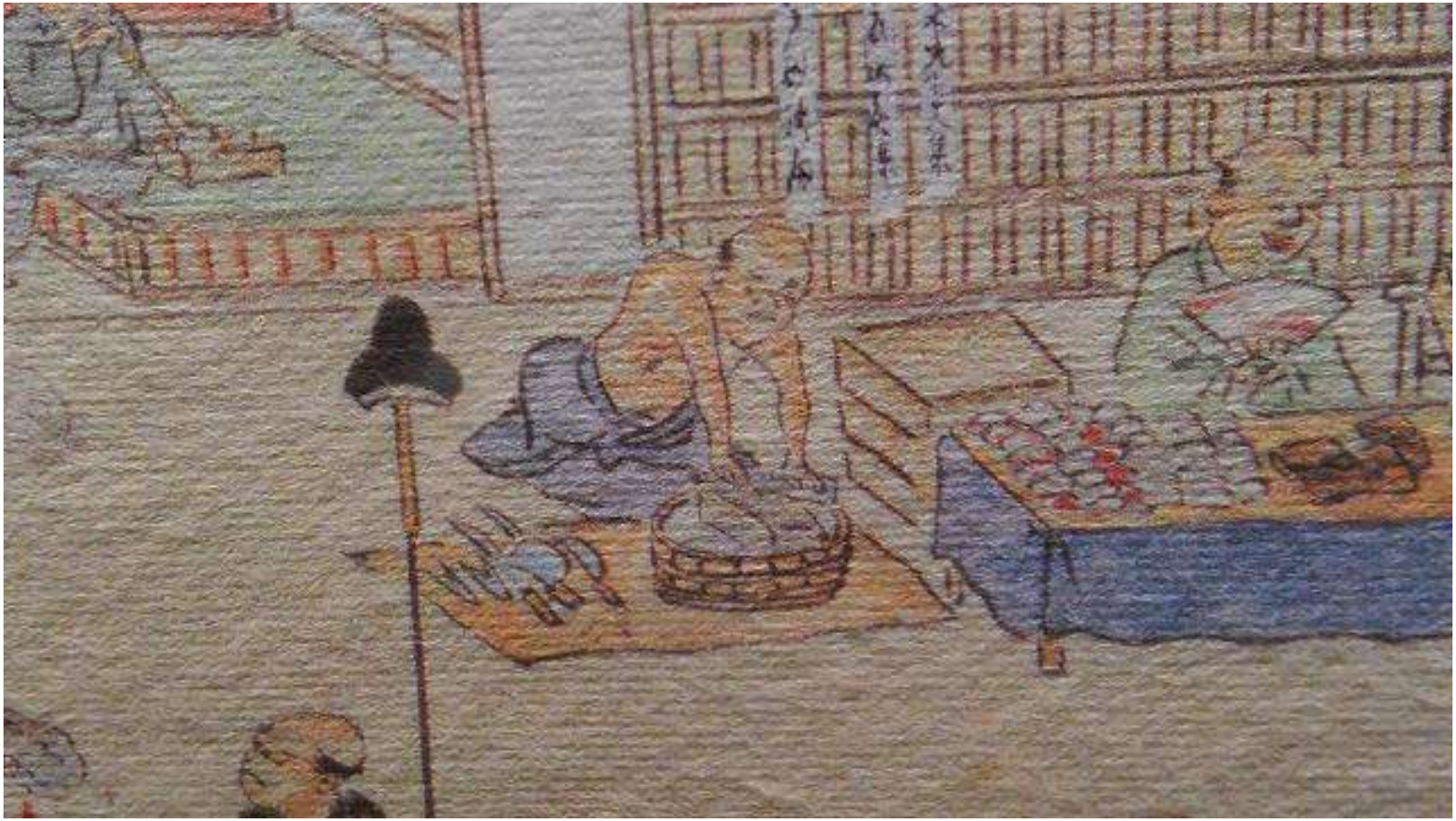
江戸の3R
　〇リユース（廃棄物の発生抑制）
　〇リデュース（再使用）
　〇リサイクル（再資源化）

たがや

鏡研ぎ



刃物研ぎ



雪駄直し

反古紙買い

らう屋

三谷一馬
江戸物売図聚
文藝春秋

灰買い

いかけ屋

焼　継

空樽買い

古傘買い

取替べい飴売り

下駄の歯入屋

江戸に
学ぶことは多いですね！

ご清聴ありがとうございました。